



Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 総会 2015

2015(平成 27)年 10 月 26 日(月)～27 日(火)

東京ステーションコンファレンス (東京都千代田区)
JR 東日本大宮総合車両センター (さいたま市大宮区)
東武博物館・東京スカイツリー (東京都墨田区)



は じ め に

1991（平成 3）年に日本鉄道保存協会が生まれてから、24 年が経ちました。現在の会員数は 50 団体までと少し、発足当初の会員は車両の動態保存をしている 14 団体でしたが、その後有力な鉄道博物館、意欲にあふれる地方自治体、ボランティアのグループなども加わり、多彩な顔ぶれがそろってきました。まことに喜ばしいことであります。

本年は、世界保存鉄道協会 WATTRAIN の第 2 回総会がさいたま市の鉄道博物館と東京都心の東京ステーションコンファレンスで開かれるのに合わせて、日本鉄道保存協会の総会も東京で開催することになりました。この好機を活用して、WATTRAIN 出席の各国代表をパネリストに迎えて鉄道遺産の保存活用に関するシンポジウムを開催し、海外の先進事例を学びたいと思います。また、WATTRAIN のメンバーと共同で JR 東日本大宮総合車両センター、東武博物館、東京スカイツリーを訪問し、合同の夕食会も計画しております。これらの機会を通じて、海外の保存団体との交流が深まることを期待します。

今回の WATTRAIN 総会開催にあたり、JR 東日本、JR 東海、JR 西日本の各社から多大のご支援を頂きました。また WATTRAIN 一行による JR 東日本大宮総合車両センター、真岡鐵道、東武鐵道、東武博物館、大井川鐵道、JR 東海リニア・鉄道館、博物館明治村、嵯峨野觀光鐵道、広島電鉄、JR 西日本山口線と津山機関庫、片上鐵道保存会の各箇所訪問にあたり、関係の皆様から多大のご尽力を頂くことになりました。このような特色ある総会と見学会を開催できるのは、ひとえに皆様のご厚意のおかげであり、ここに特記して厚くお礼申し上げます。

先の見えない世の中にあって、いま日本人は、一方で成長と繁栄に期待をつなぎながらも、他方では内面的な精神の安定と文化の豊かさを求めています。日本の近代化を牽引し、戦後復興と高度成長を支えた鉄道の遺産を保存し、その価値を後世に伝える私たちの活動は、このような日本人の心の底にある欲求に添うものであり、私たちは自信をもって理解者と支援者を増やす努力を続けたいと思います。

創立 25 周年を迎える来年は、会員数 50 に達することを目指しつつ、活動の足下を固めるためにさらに努力を重ね、正会員・賛助会員・友の会会員各位のご理解とご協力を得ながら、前進を期したいと思います

2015（平成 27）年 10 月 26 日

日本鉄道保存協会代表幹事団体
公益財団法人交通協力会 会長
菅 建 彦

日 時	2015（平成 27）年 10 月 26 日（月）～ 27 日（火）		
開催地	総 会	東京ステーションコンファレンス （東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー5 階）	
	見 学 会	東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター （さいたま市大宮区錦町 1017） 東武博物館（墨田区東向島 4-29-12） 東京スカイツリー（墨田区押上 1-1-2）	
	交 流 会	音楽ビヤプラザライオン銀座店（中央区銀座 7-9-20）	
主 催	日本鉄道保存協会		
協 力	東日本旅客鉄道株式会社	東武鉄道株式会社	公益財団法人東武博物館

11 時 30 分	受 付 開 始
12 時 00 分	開 会 挨 拶 代表幹事団体 公益財団法人交通協力会 会 長 菅 建 彦
12 時 05 分	総 会 ① 出席者紹介 ② 平成 26 年度事業報告（案） ③ 平成 26 年度収支報告（案） ④ 平成 26 年度監査報告 ⑤ 平成 27 年度事業計画（案） ⑥ 平成 27 年度収支予算（案） ⑦ 平成 28 年度開催地（案） ⑧ 会計監事団体改選 ⑨ 新加入団体承認
12 時 50 分	終 了
(休 憩)	

- 13 時 00 分 当協会・WATTRAIN による合同昼食会
- 14 時 00 分 保存鉄道国際会議「鉄道遺産の保存と活用」(日英同時通訳あり)

モデレーター

デビッド・モーガン (WATTRAIN/英国)
菅 建彦 (日本鉄道保存協会/日本)

パネリスト

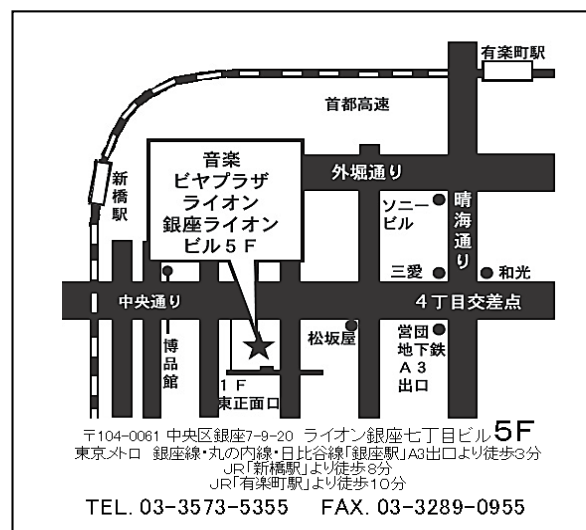
イアン・リー (英 国)
ステファン・ベナッツォ (欧 州)
ガブリエラ・ガリシア (アルゼンチン/ラテン・アメリカ)
クリス・ル・マーシャル (オーストラリア)
米 山 淳 一 (日 本)

- 17 時 00 分 終 了

(各自で交流会会場へ移動 地図参照→)

- 18 時 30 分 交 流 会 開 始

- 20 時 30 分 交 流 会 終 了



10 月 27 日 (火)

- 9 時 45 分 大宮総合車両センター正門前に集合
- 10 時 00 分 大宮総合車両センター見学 (80 名)
- 13 時 00 分 東武大宮駅より東武鉄道 8000 系「大会記念電車」に乗車 (車内昼食)
- 14 時 00 分 東武博物館見学
- 15 時 30 分 東京スカイツリー見学
- 16 時 30 分 解 散

以 上

日本鉄道保存協会（RPSJ）2015年度総会 出欠一覧表

2015.10.26現在

資 格	所属団体	役 職	氏 名	26日	交流会	27日
顧 問	東京学芸大学	名誉教授	青木 栄一	欠 席		
顧 問		英文学者	小池 滋	欠 席		
顧 問	東武博物館	理 事	花上 嘉成	×	×	○
顧 問	公益財団法人 交通協力会	会 長	菅 建彦	○	○	○
顧 問	茨城大学教育学部	特任教授	堤 一郎	×	○	×
顧 問	ネコ・パブリッシング	編集局長	名取 紀之	○	○	○

正会員	遠軽町（旧丸瀬布町）			欠 席		
正会員	陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）	事務局長	杉本 武勝	○	○	○
正会員	陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）		熊谷 亨介	○	○	○
正会員	陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）		野本 陽子	○	○	○
正会員	陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）		野本 浩史	○	○	○
正会員	NPO法人 ひがし大雪アーチ橋友の会			欠 席		
正会員	三笠市	企画經濟部商工観光課	猿田 正人	○	×	×
正会員	三菱大夕張鉄道保存会			欠 席		
正会員	北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道）			欠 席		
正会員	NPO法人 北海道鉄道文化保存会			欠 席		
正会員	七百レールファンクラブ	副会長	野田 悟	○	×	×
正会員	一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会	理 事	野平 茂雄	○	○	○
正会員	小坂鉄道保存会	会 長	千葉 裕之	○	×	×
正会員	小坂鉄道保存会	企画局長	長渕 勇一	○	×	×
正会員	小坂鉄道保存会	特別役員	吉野 幸裕	○	○	○
正会員	小坂鉄道保存会	会 員	大谷 清次	○	○	○
正会員	栗原市			欠 席		
正会員	真岡線SL運行協議会	主 事	上野 勇人	○	○	○
正会員	けいてつ協会	代 表	岡本 憲之	○	○	○
正会員	鹿島鉄道保存会	副代表	長津 博樹	○	○	○
正会員	鹿島鉄道保存会	副代表	野澤 秀幸	○	○	○
正会員	鹿島鉄道保存会	参 与	木瀬 若桜	○	○	○
正会員	銚田駅保存会	理 事	川津 重夫	○	○	×
正会員	碓氷峠鉄道文化むら			欠 席		
正会員	デハ3499号車保存会	代 表	日暮 成一	○	○	×
正会員	日本工業大学			欠 席		
正会員	秩父鉄道株式会社			欠 席		
正会員	西武鉄道株式会社			欠 席		
正会員	東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）	大宮支社運輸部車両課長	藤井 威人	×	×	○
正会員	東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）	大宮支社運輸部車両課副課長	茅島 勝敏	×	×	○
正会員	公益財団法人 東日本鉄道文化財団	鉄道博物館副館長	荒木 文宏	○	×	×
正会員	一般財団法人 東武博物館		神野 京子	×	○	○
正会員	公益財団法人 日本ナショナルトラスト			欠 席		
正会員	公益財団法人 交通協力会	常務理事	岡田 恒夫	○	○	○
正会員	横浜市電1156号保存会	代 表	齊藤 大起	○	×	×
正会員	横浜市電1156号保存会		青木 渉	○	×	×
正会員	新潟市新津鉄道資料館	副館長	水澤 喜代志	○	○	○
正会員	新潟市新津鉄道資料館	学芸員	岩野 邦康	○	○	○
正会員	上松町（赤沢森林鉄道）			欠 席		
正会員	虹の郷（一般財団法人 伊豆市振興公社）			欠 席		
正会員	大井川鐵道株式会社	取締役鉄道部長	大石 保	○	○	○
正会員	東海旅客鉄道株式会社（JR東海）リニア・鉄道館	副館長	大橋 正智	○	×	×
正会員	博物館明治村（公益財団法人 明治村）	主 任	近藤 雅隆	○	○	○
正会員	長浜鉄道スクエア（公益社団法人 長浜観光協会）	館 長	清水 義康	○	○	○
正会員	貨物鉄道博物館			欠 席		
正会員	西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）			欠 席		
正会員	公益財団法人 交通文化振興財団			欠 席		

資 格	所属団体	役 職	氏 名	26日	交流会	27日
正会員	加悦SL広場（宮津海陸運輸株式会社）	管理課長	柴田 万喜也	○	○	×
正会員	NPO法人 加悦鐵道保存会	理事長	吉田 博一	○	○	○
正会員	NPO法人 加悦鐵道保存会		中井 善宏	○	○	○
正会員	ふるさと鐵道保存協会			欠 席		
正会員	片上鐵道保存会		森岡 誠治	○	○	○
正会員	若桜駅を元気にする会	会 長	藤原 源市	○	○	○
正会員	若桜駅を元気にする会	幹 事	矢部 康樹	○	○	○
正会員	若桜駅を元気にする会	幹 事	山田 和昭	○	○	○
正会員	若桜駅を元気にする会	事務局	谷本 剛	○	○	○
正会員	NPO法人 市民文化財ネットワーク鳥取			欠 席		
正会員	山口線SL運行対策協議会			欠 席		
正会員	西条市	四国鐵道文化館館長	松尾 健二	○	○	○
正会員	西条市	観光交流センター副館長	佐竹 浩	○	○	○
正会員	馬路村			欠 席		
正会員	九州旅客鐵道株式会社（JR九州）	広報室	堀 篤史	○	○	○
正会員	北九州線車両保存会	代 表	手嶋 康人	○	○	○
正会員	北九州線車両保存会		毎熊 晃	○	○	○

賛助会員	株式会社ネコ・パブリッシング			顧問欄に記載		
賛助会員	株式会社鐵道ジャーナル社			欠 席		
賛助会員	日本鐵道写真作家協会		猪井 貴志	○	○	×
賛助会員	有限会社 レイルマンフォトオフィス	代表取締役	山崎 友也	○	○	○
賛助会員	北陸重機工業株式会社			欠 席		
賛助会員	株式会社JTBパブリッシング	編集主査	河合 桃子	○	○	○
賛助会員	有限会社鐵道フォーラム		仲沢 幸治	○	○	○
賛助会員	株式会社片上鐵道		森岡 直子	○	○	○
賛助会員	株式会社日本旅行	鐵道プロジェクト	瀬端 浩之	○	○	○
賛助会員	株式会社トレインプラン	代表取締役	太田 裕二	○	○	○

友の会会員			赤羽 誠	○	○	○
友の会会員			阿部 豊	○	○	○
友の会会員	イモンコーポレーション	代表取締役	井門 義博	欠 席		
友の会会員			岩野 弘一	○	○	○
友の会会員			遠藤 哲夫	欠 席		
友の会会員	四国電設工業株式会社	監査役	加藤 圭哉	○	○	○
友の会会員	東京地下鉄株式会社		倉繁 聡	○	○	○
友の会会員			柴山 純一	欠 席		
友の会会員	清水薫 レイルウェイフォトオフィス	代 表	清水 薫	○	○	○
友の会会員	トラベルライター		白川 淳	○	○	○
友の会会員			関田 克孝	欠 席		
友の会会員			橘 秀幸	○	○	○
友の会会員			田中 光一	欠 席		
友の会会員			長野 光芳	○	○	○
友の会会員	西武鐵道社友会	事務局長	西尾 恵介	○	○	×
友の会会員			藤井 修	○	○	○
友の会会員			水野 弥彦	○	○	×

オブザーバー			山崎 朗	○	○	○
オブザーバー	ジェイアール四国企画株式会社	部 長	松本 新一	○	○	○
オブザーバー	四国旅客鐵道株式会社	総合企画本部副長	漆原 充	○	○	○
オブザーバー	楽寿園応援隊		一杉 夏来	○	○	×

事務局	日本鐵道保存協会（地域遺産プロデューサー）	事務局長	米山 淳一	○	○	○
事務局	日本鐵道保存協会		佐々木 雅子	○	○	○

日本鉄道保存協会 会員名簿

2015.10.26 現在

<凡 例>

番 号	団 体 名
〒	団体所在地 / 連絡先住所
	電話番号 / Fax 番号
	団体代表者名
	RPSJ 担当者名 (☆)

正 会 員

01 遠軽町（旧丸瀬布町）

〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 115-2
遠軽町役場丸瀬布総合支所 産業課
Tel 0158-47-2213 Fax 0158-47-2128

町 長	佐々木 修一
観光係長	小山 信芳 (☆)

02 陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）

〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 69-1
Tel 0156-27-2244 Fax 0156-27-2791

会 長	石橋 強
副会長	山本 周二
事務局長	杉本 武勝 (☆)

03 NPO 法人 ひがし大雪アーチ橋友の会

〒080-1408 北海道河東郡上士幌町上士幌東 3 線
Tel 0156-42-3385 Fax 0156-42-3682

会 長	那須 襄太郎
事務局長	角田 久和 (☆)

04 三笠市

〒068-2192 北海道三笠市幸町 2
三笠市役所商工観光課 商工観光係
Tel 0126-72-3997 Fax 0126-72-7880

市 長	小林 和男
主 事	中谷 優輝 (☆)

05 三菱大夕張鉄道保存会

〒068-0855 北海道江別市大麻宮町 4-6-502
Tel 011-387-4783

会 長	奥山 道紀
事務局長	今井 一郎 (☆)

06 北海道旅客鉄道株式会社

〒060-8644 北海道札幌市中央区北 11 条西 15-1-1
Tel 011-700-5785 Fax 011-700-5786

代表取締役社長	島田 修
運輸部車両課副課長	大畑 裕昭 (☆)

07 NPO 法人 北海道鉄道文化保存会

〒047-0041 北海道小樽市手宮 1-3-6
小樽市総合博物館内
Tel 0134-61-7777

代表理事	飯田 勝幸
専務理事	清水 道代 (☆)

08 一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会 ※新規加入

〒133-0051 東京都江戸川区北小岩 2-14-2-111 号
Tel 03-3672-7709

代表理事	星野 正博 (☆)
------	-----------

09 七百レールファンクラブ ※新規加入

〒336-0926 埼玉県さいたま市緑区東浦和 7-4-12-103
Tel 070-6528-2629

会 長	斉藤 正
副会長	野田 悟 (☆)

10 小坂鉄道保存会

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山古館 48-2
小坂町役場観光産業課
Tel 0186-29-2342 Fax 0186-29-3728

代 表	千葉 裕之
総務局長	亀沢 修 (☆)

11 栗原市

〒987-2252 宮城県栗原市築館薬師 1-7-1
栗原市役所企画部企画課
Tel 0228-22-1125 Fax 0228-22-0313

市 長	佐藤 勇
企画部企画課	鈴木 敬 (☆)

12 真岡線 SL 運行協議会

〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷 4412

Tel 0285-82-9151 Fax 0285-82-9152

会 長（真岡市長）	井田 隆一
事務局長	中山 文行
係 長	田中 康寛（☆）

13 けいてつ協会

〒321-1511 栃木県日光市足尾町松原 12-5

せんろ商会足尾事務所

Tel・Fax 0288-93-3403

代 表 岡本 憲之（☆）

14 鹿島鉄道保存会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 11 階

株式会社パレア

Tel 03-5802-2755 Fax 03-3818-2700

代 表 加藤 三千尋（☆）

15 鉾田駅保存会

〒310-0001 茨城県水戸市上河内町 162

Tel・Fax 029-239-6735

理 事 川津 重夫（☆）

16 碓氷峠鉄道文化むら（一般財団法人 碓氷峠交流記念財団）

〒379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16

Tel 027-380-4163 Fax 027-380-4111

代表理事	上原 有一
館 長	飯沼 勲
事務局長	小板橋 博（☆）

17 デハ 3499 号車保存会

〒331-0802 埼玉県さいたま市北区本郷町 313 蓮見住宅 C-3

代 表 日暮 成一（☆）

18 日本工業大学

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

日本工業大学工業技術博物館

Tel 0480-33-7545 Fax 0480-33-7570

学 長	波多野 純
館 長	松野 建一
講師・学芸員	丹治 明（☆）

19 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町 1-1
Tel 048-523-3337 Fax 048-526-0551

代表取締役社長 大谷 隆男
車両課長 根津 泰生 (☆)

20 西武鉄道株式会社

〒359-8520 埼玉県所沢市くすのき台 1-11-1
Tel 042-926-2283 Fax 042-926-2239

代表取締役社長 若林 久
車両部車両課長 山下 和彦 (☆)

21 東日本旅客鉄道株式会社

〒151-8578 東京都渋谷区代々木 2-2
Tel 03-5334-1352

代表取締役社長 富田 哲郎
総務部主席 三山 勇一 (☆)

22 公益財団法人 東日本鉄道文化財団

〒151-8578 東京都渋谷区代々木 2-2-2
JR 東日本本社ビル 11 階
Tel 03-5334-0623 Fax 03-5334-0624

理事長 清野 智
企画部担当部長 高橋 政弘 (☆)

23 一般財団法人 東武博物館

〒131-0032 東京都墨田区東向島 4-28-16
Tel 03-3614-8811 Fax 03-3614-8814

会 長 根津 嘉澄
理事・名誉館長 花上 嘉成
専務理事・館長 山田 智則
管理課長 山澤 晴行 (☆)

24 公益財団法人 日本ナショナルトラスト

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル 4 階
Tel 03-6380-8511 Fax 03-3237-1190

会 長 梅崎 壽
事業課 梅宮 路子 (☆)

25 公益財団法人 交通協力会

〒102-0083 千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903
Tel 03-6269-9808 Fax 03-6269-9809

会 長 菅 建彦 (☆)

26 横浜市電 1156 号修復プロジェクト

〒231-8445 神奈川県横浜市中区太田町 2-23 神奈川新聞文化部
Tel 090-9015-3707

代 表 齊藤 大起 (☆)

27 新潟市新津鉄道資料館 ※新規加入

〒956-0101 新潟県新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
新潟市文化スポーツ部歴史文化課 新津鉄道資料館
Tel 0250-24-5700 Fax 0250-25-7808

館 長 帆苅 正悟
副館長 水澤 喜代志 (☆)

28 上松町（赤沢森林鉄道）

〒399-5603 長野県木曾郡上松町駅前通り 2-13
上松町役場産業観光課
Tel 0264-52-4804 Fax 0264-52-1038

町 長 田上 正男
商工観光係 横内 義広 (☆)

29 虹の郷（一般財団法人 伊豆市振興公社）

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 4279-3
Tel 0558-72-7222 Fax 0558-72-7133

理事長 鈴木 健範
園内交通課 秋山 忠久 (☆)

30 大井川鐵道株式会社

〒428-8503 静岡県島田市金谷東 2 丁目 1112-2
Tel 0547-45-4111 Fax 0547-45-4115

代表取締役社長 前田 忍
鉄道部長 大石 保 (☆)

31 東海旅客鐵道株式会社（リニア・鐵道館）

〒455-0848 愛知県名古屋市港区金城ふ頭 3-2-2
リニア・鐵道館
Tel 052-389-6112

代表取締役社長 柘植 康英
館 長 天野 満宏 (☆)

32 博物館明治村（公益財団法人 明治村）

〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地
Tel 0568-67-0314 Fax 0568-67-0358

館 長 中川 武
所 長 鷺見 勝彦
主 任 近藤 雅隆 (☆)

33 長浜鉄道スクエア（公益社団法人 長浜観光協会）

〒526-0037 滋賀県長浜市高田町 12-34

Tel 0749-65-6521 Fax 0749-64-0396

館 長

清水 義康（☆）

34 貨物鉄道博物館

〒510-8014 三重県四日市市富田 3-22-83

三岐鉄道本社内

Tel 059-364-2141 Fax 059-364-2142

館 長
理 事

吉岡 心平（☆）
北川 潤

35 西日本旅客鉄道株式会社

〒530-8341 大阪府大阪市北区芝田 2-4-24

Tel 06-6375-2176 Fax 06-6376-6053

代表取締役社長
広報部（鉄道文化）

真鍋 精志
藤平 由夏（☆）

36 公益財団法人 交通文化振興財団

〒552-0001 大阪市港区波除 3-11-10

Tel 06-6581-5771 Fax 06-6584-1309

理事長
専務理事
学芸員

真鍋 精志
三浦 英之
島 崇（☆）

37 加悦 SL 広場（宮津海陸運輸株式会社）

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町滝 941-2

Tel 0772-42-3186 Fax 0772-43-0080

代表取締役社長
管理課長

野田 真人
柴田 万喜也（☆）

38 NPO 法人 加悦鐵道保存会

〒612-8485 京都府久我森の宮町 4-144

Tel 090-3829-4000

理事長

吉田 博一（☆）

39 ふるさと鐵道保存協会

〒674-0051 兵庫県明石市大久保町大窪 818-3 中井方

Tel 090-3896-1046

理事長

中井 健二（☆）

40 片上鉄道保存会

〒733-0813 広島県広島市安芸区船越 2-26-5
Tel 082-507-2035

代表幹事 森岡 誠治 (☆)

41 若桜駅を元気にする会

〒680-0792 鳥取県八頭郡若桜町若桜 801-5
若桜町役場ふるさと創生課
Tel 0858-82-2231 Fax 0858-82-0134

会 長 藤原 源市
事務局 木地谷 諭 (☆)

42 NPO 法人 市民文化財ネットワーク鳥取

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町 1-106
Tel 0857-26-1151 Fax 0857-22-4103

理事長 渡辺 一正
事務局長 太田 縁 (☆)

43 山口線 SL 運行対策協議会

〒753-8501 山口県山口市滝町 1-1
山口県観光振興課内
Tel 083-933-3170 Fax 083-933-3179

会 長 阿野 徹生
観光振興課 植田 達也 (☆)

44 西条市

〒793-0030 愛媛県西条市大町 798-1
西条市観光交流センター
Tel 0897-47-3575 Fax 0897-53-6200

市 長 青野 勝
観光交流センター 佐竹 浩 (☆)

45 馬路村

〒781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 10-11
馬路村役場魚梁瀬支所 やなせ森林鉄道運営委員会
Tel 0887-43-2211 Fax 0887-43-2208

村 長 上治 堂司
魚梁瀬支所長 伊吹 卓哉 (☆)

46 九州旅客鉄道株式会社

〒812-8566 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-25-21
Tel 092-474-2541 Fax 092-474-3898

代表取締役社長 青柳 俊彦
広報室 室長代理 井下 普樹 (☆)

47 北九州線車両保存会

〒813-0003 福岡県福岡市東区香住ヶ丘 7-2-1 香椎花園内レトロ電車パーク
Tel 080-6412-1666

代 表 手嶋 康人 (☆)

賛 助 会 員

01 株式会社ネコ・パブリッシング

〒153-8545 東京都目黒区下目黒 2-28-18 目黒山手通ビル
Tel 03-5745-7813

Rail Magazine 編集長 名取 紀之 (☆)

02 株式会社鉄道ジャーナル社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-6 日産ビル 3F
Tel 03-3264-1891 Fax 03-3265-3597

編集長 宮原 正和 (☆)

03 日本鉄道写真作家協会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-4-3 エレガンス飯田橋 504
レイルマンフォトオフィス内

会 長 猪井 貴志
事務局 村上 悠太 (☆)

04 有限会社 レイルマンフォトオフィス ※新規加入

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-4-3 エレガンス飯田橋 504
Tel 03-5212-2045 Fax 03-5212-2046

会 長 山崎 友也 (☆)

05 北陸重機工業株式会社

〒950-0871 新潟県新潟市山木戸 7-3-69
Tel 025-274-3311 Fax 025-271-4812

取締役会長 霜鳥 勝徳
営業課長 岩橋 正人 (☆)

06 株式会社 JTB パブリッシング

〒162-8446 東京都新宿区払方町 25-5

Tel 03-6888-7845 Fax 03-6888-7876

代表取締役社長 里見 雅行
編集長 河合 桃子 (☆)

07 有限会社鉄道フォーラム

〒484-0085 愛知県犬山市西古券 57

Tel 0568-62-9603 Fax 0568-61-6310

代表取締役 伊藤 博康 (☆)

08 株式会社片上鉄道

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原 517

Tel 080-3541-5552 Fax 082-507-2035

代表取締役 森岡 直子 (☆)

09 株式会社日本旅行

〒105-8606 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル

Tel 03-3572-8718

代表取締役社長 丸尾 和明
鉄道プロジェクト 瀬端 浩之 (☆)

10 トレインプラン

〒662-0054 兵庫県西宮市大谷町 3-30

代 表 太田 裕二 (☆)

友の会 会員 (五十音順)

赤羽 誠	阿部 豊	井門 義博	岩野 弘一	遠藤 哲夫
加藤 圭哉	倉繁 聡	柴山 純一	清水 薫	白川 淳
関田 克孝	橘 秀幸	田中 光一	長野 光芳	西尾 恵介
藤井 修	水野 彌彦			

以 上

日本鉄道保存協会規約

(名称)

第1条 この会の名称は、日本鉄道保存協会（以下「協会」という）とする。

(目的)

第2条 協会は、歴史的鉄道車両、構造物、建物等を保存している団体が集い、相互に情報を交換し、将来にわたる保存・活用を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

(会議)

第4条

1. 協会の会議は、総会および幹事会とする。
2. 総会は年1回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

(役員団体)

第5条

1. 協会に代表幹事団体1団体、幹事団体2団体、会計監事団体2団体を置く。
2. 代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。
3. 代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。
会計監事団体は、協会の会計を監査する。
4. 役員団体の任期は2年とし、重任を妨げない。

(顧問)

第6条 協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は2年とし、重任を妨げない。

(友の会)

第6条の2

1. 協会に日本鉄道保存協会友の会（以下「友の会」という）を設置し、協会の活動を支持する個人をもってその会員とする。
2. 友の会会員は総会に出席することができる。但し議決権を有しない。

(事務局)

第7条 協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

(会費)

第8条

1. 協会の経費は、正会員、賛助会員および友の会会員が拠出する会費、並びに寄付金により賄う。
2. 年会費の額は、正会員12,000円、賛助会員12,000円（1口）、友の会会員3,000円とする。
3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の改正)

第9条 この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付則 この規則は、平成3年4月1日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体が輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体および幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成 3年 4月 1日施行
平成 6年 8月10日改正
平成16年 9月10日改正
平成20年10月 2日改正

団体名	遠軽町	〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町115-2 遠軽町丸瀬布総合支所産業課 TEL. 0158-47-2213 FAX. 0158-47-2128
-----	-----	---



雨宮21号は森林鉄道用の蒸気機関車として昭和3年から約30年間、木材の運搬や生活物資の運搬のため武利意森林鉄道で活躍した車輛の1台です。
用途廃止後は、町民の保存運動によって唯一本機のみがスクラップ化を免れ、昭和54年には森林公園いこいの森で待望の動態保存が実現しました。

H26.923撮影

雨宮21号・DL機関車並走同時運行

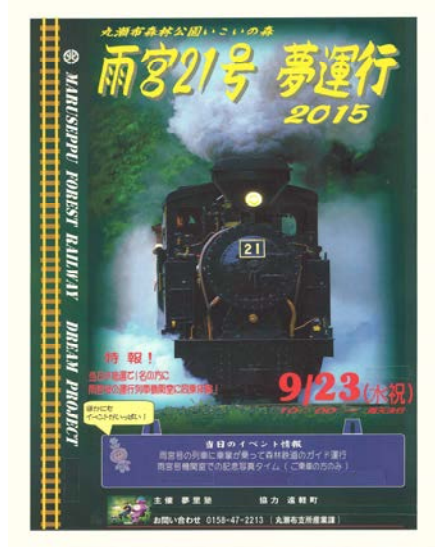
平成16年度 北海道遺産に選定（NP0法人北海道遺産協議会）
平成20年度 近代化産業遺産に認定（経済産業省）
平成24年度 準鉄道記念物に認定（JR北海道）

1. 運行日 平成27年4月29日から10月18日までのGW・夏休み・土・日・祝日
2. 運行時間 10時から16時30分（30分毎）
3. 運行区間 森林公園いこいの森 2km
4. 乗車料金 大人500円（高校生以上） 小人250円（4才以上）

【近況報告】

◆町おこし団体「夢里塾」による夢運行開催

◆いこいの森セミナー開催
雨宮号の解説・火入れ体験



＜2015イベント＞

4/29日～30日	【雨宮21号+井笠客車】と【DL機関車+木曾森林客車】の同時運行
7/19日～20日	
9/12日～13日	
10/11日～12日	
10/18日	
5/3日	雨宮21号夜桜撮影会
8/1日	ミッドナイト・ラン(車輛に電飾を施し、4便運行)・雨宮21号花火撮影会
9/26日	お月見列車運行及び撮影会
9/23日	雨宮21号夢サービス運行(乗車体験・レール渡り等)

団体名



〒 089-4300

北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 6 9 番地 1

Tel : 0156-27-2244 Fax : 0156-27-2791

URL <http://rikubetsu-railway.jimdo.com/>

Email ginga@bz01.plala.or.jp

【営業期間】

4月下旬～10月下旬

【気動車乗車体験】

CR75（銀河鉄道 999 ラッピング列車）を使用し運行しています。

料金：中学生以上 300 円・小学生 200 円・小学生以下無料（構内）、中学生以上 500 円・小学生 300 円・小学生以下無料（構外）

【トロッコ体験】

足こぎ式を利用し 400m の周回コースを 1 周

料金：中学生以上 300 円・小学生 200 円・小学生以下無料

【気動車運転体験】

CR70・75 型を使用し、運転士指導の下で運転していただくコースです。

（S コース）

女性の方でも簡単に体験できます。

料 金：2000 円

対 象 者：小学校高学年以上身長 130 cm 以上

体験運転：約 20 分間（運転・説明）

（銀河コース）

1 週間前完全予約制

※L コース体験者のみ体験可能

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：30000 円

体験時間：約 80 分間（運転）



廃線から 9 年半。旧分線駅まで往復 11.4 km の特別運行。
平成 27 年 9 月 22 日（火）

（L コース）

1 週間前完全予約制

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：20000 円

体験時間：約 80 分間（講習・出区点検・運転）

（銀河コースパックセット）

1 週間前完全予約制

初心者でも銀河コースを運転できるのでおススメ!!

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：50000 円

体験時間：計約 160 分間（講習・出区点検・運転）

L コース 80 分間・銀河コース 80 分間

L コースと銀河コースの体験に、2 食付の
宿泊が付き 50000 円。

平成 27 年度事業経過

今年度は昨年延伸し運行区間が往復 6.2 km になった駅構外乗車体験列車を毎月運行しています。また、9 月の大型連休に合わせて廃線以来 9 年半ぶりとなる旧分線駅まで往復 11.4 km の乗車体験列車を運行しました。運行に伴い草刈り作業や線路の補修作業が行われました。当日は道内外からたくさんのお客様がお見えになりました。

7 月に行われた第 7 回りくべつ鉄道まつりでは昨年同様花火列車の運行及び車内にてプラネタリウムの上映が行われ大変盛り上がりしました。

また、現在作業用のピットを新たに建設中で今年度中に完成する予定です。作業用ピット完成の後、今まで休車となっていた車両も含め順次修理作業に入る予定です。



9 月 22 日（火）特別乗車体験列車内の様子

<平成 27 年度イベントスケジュール>

4 月 25 日（土）平成 27 年度営業開始

5 月 5 日（月）GW 特別運行

★6 月 28 日（日）駅構外特別運行

7 月 19 日（日）第 7 回りくべつ鉄道まつり

8 月 8 日（土）～16 日（日）お盆特別営業

9 月 13 日（日）網走本線開通記念イベント

★9 月 22 日（火）陸別～旧分線駅間特別運行

10 月 11 日（日）鉄道の日記念運行

10 月 25 日（日）平成 27 年度営業最終日

★今年度初めてのイベント

めがね橋だより



平成27年3月31日

【土幌線跡の草刈り】を実施

6月に土幌線跡・十四の沢から第五音更川橋梁までの約5.8kmの草刈りを行いました。陸線跡をこれだけ綺麗に保全している路線は少ないと思います。ただ、ヒグマの気配が結構します。



草刈りの作業中



【アーチ橋の点検】を実施

春と秋にアーチ橋7橋梁と1つのトンネル、線路跡の点検を実施して経年変化の様子を所有者の上士幌町に報告しています。



第三橋梁の鉄筋の露出



第五橋梁のコンクリートの剥落

【第三音更川橋りょう保全および活用事業】について

平成21年度から行っています「第三音更川橋りょう補修のための募金」総額は平成27年4月30日現在739件で30,547,842円になっています。（上士幌町で管理しています）皆様のご協力に心から感謝申し上げます。
平成28年度まで募金活動を行います。



発行 NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会 会長 那須襄太郎
事務局 〒080-1408 河東郡上士幌町上士幌東3線239番地
TEL 01564-2-3385 FAX 2-3682
Eメール arch@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ <http://arch-bridge.sakura.ne.jp>

【北海道文化財保護功労者表彰】を受賞

当会の永年に亘る旧土幌線・鉄道遺産の保存・利活用の活動が評価され、北海道文化財保護協会から表彰されました。



平成26年10月20日の表彰式

【ふるさと納税感謝祭で友の会の活動をPR】

平成27年2月1日に。東京・品川プリンスホテルで上士幌町主催の「ふるさと納税感謝祭」が行われました。当会が行っている「第三音更川橋りょう補修のための募金」がふるさと納税の対象になっていることから、友の会も感謝祭に参加して友の会の活動をPRしました。



【鉄道トロッコ】を運行

7、8、9、10月に全長662mの線路を使って鉄道トロッコを運行しました。今年度からは当会でトロッコ運行をしました。ご乗車のお客様からは自然の中のトロッコ乗車は気持ち良いとの感想を頂いています。。



団体名	北海道三笠市	〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所商工観光課 TEL 01267-2-3997 FAX 01267-2-7880 E-mail kankou@city.mikasa.hokkaido.jp URL http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/
施設名	三笠鉄道村	〒068-2145 北海道三笠市幌内町2丁目 三笠鉄道記念館 TEL 01267-3-1123 FAX 01267-2-6965 E-mail tetsudoumura@s-304.com URL http://www.s-304.com/

三笠鉄道記念館は、北海道鉄道発祥の地として歴史的遺産・文化保存のため、昭和62年にオープンしました。管内には、明治時代の貴重な材料や、大正、昭和期に実際に使用された時刻表・制服・S L部品・信号機をはじめ北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な鉄道関連品を展示しています。動体保存されている蒸気機関車S-304号は、1939年に日本製鉄輪西製鉄所（後の新日本製鐵室蘭製作所）向けに作られた産業用機関車です。

■ S L 運行（乗車1回300円）

運行日……4月16日から10月15日までの土・日・祝日
※7月下旬～8月中旬までの夏休み期間は、休館日を除き毎日運行
土曜……12:00始発～16:00発最終
日曜・祝日……10:00始発～16:00発最終
※30分毎の発車です。ただし、12:30発の便はありません。



■ S L 機関士運転体験

三笠鉄道村では、蒸気機関車S-304号の運転体験ができます。村内の幌内鉄道450mを1往復。5分足らずのわずかな時間ですが、気分はS L機関士そのもの。全国各地からの参加があり、会員数も600人を超えました。（詳しい体験方法はホームページご参照）

■ 展示車両（三笠鉄道村幌内ゾーン）

- 1 動態展示 S-304（C形タンク機）、コトラ149456、コトラ153095
- 2 機関庫内展示 C122（国鉄C12形機関車）、59609（国鉄9600形機関車）、ED76505、DD13353
- 3 屋外展示 キハ2252、キハ2723、キロ26104、キハ5616 他21車両
- 4 食堂車 スハフ4520、キシ8031、オハフ46504

■ イベント開催

毎年のゴールデンウィーク、夏休み、秋にイベントを実施。イベント時には、オリジナルヒーロー「鉄道戦隊ぼっぼレン

ジャー」が登場します。

今年のゴールデンウィークに行われたイベントでは、ぼっぼレンジャーとじゃんけん大会や「どん」づくり体験が行われ、小さなお子様連れのお客様で賑わいました。



団 体 名	三菱大夕張鉄道保存会	連絡先 068-0855 北海道江別市大麻宮町 4-6 三菱大夕張鉄道保存会事務局 011-387-4783
-------	------------	--

○三菱大夕張鉄道について

三菱大夕張鉄道は明治 44(1911)年に大夕張炭坑の専用鉄道として清水沢～二股間(後の南大夕張)が開通、その後炭鉱の北部移転に伴い、南大夕張～通洞間(後の大夕張炭山)が延長された。昭和 14(1939)年には地方鉄道に改組され、大夕張炭鉱の他、沿線の中小炭鉱の石炭輸送、森林鉄道で運び出された本材輸送など、沿線の開発に大きな貢献をした。また、道路が未整備であった昭和 30 年代後半までは、地域住民の貴重な足でもあり、昭和 62(1987)年に南大夕張炭鉱の台理化で鉄道が廃止されるまで残された「石炭ストープ」列車は夕張の冬の風物詩でもあり住民等に親しまれていた。



○三菱大夕張鉄道保存会の活動

鉄道廃止後、最終日の編成のままの客車・貨車などが南大夕張駅跡に残された。平成 2(1990)年には南大夕張炭鉱が閉山、保存・公園化を前提として車両が夕張市へ譲渡された(実際に正式譲渡されたのは平成 19 年)。公園化が具体化しないまま平成 11(1999)年には客車 1 両が積雪により転覆したが、市民や出身者などで三菱大夕張鉄道保存会が発足、夕張市へ保存を求めると共に修復活動開始し、12 月には夕張市により客車の転覆復旧工事が実施された。



その後当会により補修作業が本格化し、平成 13(2001)年には三菱大夕張鉄道の車両を含む空知管内の炭鉱遺産が「北海道遺産」として認定された。平成 17(2005)年には、夕張市によりシューパロダム周辺整備計画の一環として「南大夕張列車公園」整備計画が発表、住民説明会も実施されたが翌 18(2006)年には財政破綻が表面化。公園計画は事業見直しにより凍結された。平成 19(2007)年には旧南大夕張駅と保存車両が経済産業省により、近代化産業遺産として認定された。平成 27(2015)年には三菱鉱業自社発注のナハフ 1 が往年の塗装に復元された。一方、財政破綻により、夕張鉄道や三菱大夕張鉄道の S L や関連資料を保存する、石炭の歴史村・S L 館も閉鎖され、貴重な車両・資料の解体・散逸も懸念される状態にある。旧南大夕張駅については保存車両の補修に加え、補助金等を活用してホーム補修も進めているが、S L 館保存の車両・資料についても、炭鉱地域独自の鉄道遺産として地域再生に活用出来るよう活動を展開しますので、皆様のご指導・ご支援願います。

主な活動内容

○保存車両公開 4 月下旬～11 月中旬(月 1 回程度の補修活動)

○汽車フェスタ 9 月上旬

○S L 館雪下ろしバスツアー 1 月下旬

○S L 館公開や廃線跡・産業遺産探訪などを組み合わせたシンポジウム・バスツアーなどの企画、実施

○ホームページ <http://www.ooyubari-rps.net/>

夕張市での連絡先 夕張市清水沢 2 丁目読売新聞夕張中央メディアセンター(高橋勇治)

1. 平成27年度 車両補修リスト

今年度は、7車両について、5月8日から11月14日まで
損傷が進行中の車体の補修作業が行われている。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| キハユニ25-1 | 三等郵便貨物気動車（車体錆とり、ペンキ塗り） |
| キハ27-11 | 急行型気動車（車体錆とり、ペンキ塗り） |
| キロ26-107 | 急行型気動車（グリーン車）（車体錆とり、ペンキ塗り） |
| キハ56-23 | 急行型気動車（車体錆とり、ペンキ塗り） |
| キ270単線用ラッセル車 | （車体錆とり、ペンキ塗り） |
| キ1567複線用ラッセル車 | （車体錆とり、ペンキ塗り） |



2. 「レールカーニバル in おたる」開催

『北海道の鉄道の日』制定記念参加イベントとして、第4回目の
レールチャリのイベントを開催しました。

昨年に引き続き、旧手宮線跡の一部区間を活用し、市民および
観光客を対象に、自転車および軌道自転車(通称トロッコ)を走ら
せるイベントを開催し、海外からの観光客を含め、多くの参加者
で賑わいました。

開催期間 / 7月17(金)～8月2(日)
会場 / 小樽旧手宮線跡
〔駅前中央通から道々臨港線〕



3. 11月28日を『北海道の鉄道の日』に 「北海道の鉄道の日」制定実行委員会

明治13年(1880)の11月28日、北海道で初めての鉄道開通(全国で3番目)
から、今年で135年になります。アメリカ製の機関車「義経号」「弁慶号」は、
寒冷積雪の厳しい環境のなかで、未開の大地、北海道の開拓に大きく貢献し、
北海道独自の発展を果たしてきました。

今日、開拓に活躍した鉄道は、人々の記憶から薄れつつあることから。改めて
鉄道の歴史を振り返り、その功績を忘れないため、全道の鉄道遺産の保存活動に関
わる18の団体に呼びかけ、出発点〇マイル起点小樽に集まり、はじめて、「小樽
手宮から札幌」まで、鉄道が開通した日11月28日を、「北海道の鉄道の日」と
して制定することとし、実行委員会を結成、発祥の地小樽手宮から「宣言キャンペ
ーン」をスタートし、道内各地で記念イベントを展開、終着地札幌で11月27日、
宣言の記念会を開催することとしました。

□『北海道の鉄道の日』制定記念キャンペーン スタート/6月20(土)/小樽市総合博物館

◇『名寄キマロキ祭りー40周年記念』/6月27日(土)/名寄市 博物館

◇『レールカーニバル in おたる』 /7月17(金)～8月2(日)/小樽 手宮線跡

◇「陸別鉄道『北海道の鉄道の日』制定記念郊外特別運行」/10月11(日)/陸別町

◇「模型会」+「写真展」/10月17(土)、18(日)/北海道鉄道観光資源研究会 発表会

/会場/社会福祉法人湖星会 特別養護老人ホームラースール苗穂

◇ ちびっ子企画「はじめての鉄道旅行体験」10月31日(土)・小学生5、6年生対象/〈札幌ー小樽〉間

□『道内トロッコ大集合』小樽 旧手宮線跡/11月7(土)・8(日)

/狩勝高原エコトロッコ鉄道(新得町) /NPO 法人トロッコ王国美深(美深町)

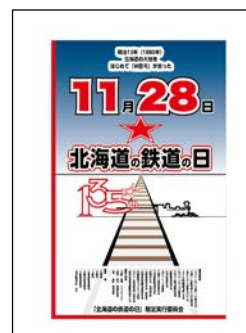
/狩勝高原エコトロッコ鉄道(新得町) /十勝漫遊舎(上士幌町)

/NPO 法人北海道鉄道文化保存会

□『北海道の鉄道の日』制定記念会/制定記念講演+記念パーティー/11月27(金)

/ホテル クラビー札幌/ (札幌ビール ファクトリー西)

□北海道鉄道の日実行委員会主催/◇北海道鉄道の日実行委員会共催



団体名 七百レールファンクラブ

<https://www.facebook.com/pages/七百レールファンクラブ/1014675581876815>

七百検修庫: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢14-66

七百レールファンクラブ会長自宅: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢95-2

会長: 斎藤正

施設名 七百鉄道記念館

七百鉄道記念館 事務取扱方

住所: 〒336-0926

埼玉県さいたま市緑区東浦和7-4-12-103

氏名: 野田 悟

連絡先: 070-6528-2629 (開館時以外は通じません)

メール: shichihyaku@wcn.ne.jp

平成24年3月31日限りで廃線となった十和田観光電鉄株式会社の旧: 七百駅構内にて同社の車両の保存活動などを行っている団体です。

平成25年に旧: 七百駅周辺の住民が中心となり「七百レールファンクラブ」発足

平成26年に旧: 七百検修庫を中心とする土地・建物と車両6両を十和田観光電鉄から会員が購入

平成27年5月31日 「七百鉄道記念館」として第一回 一般公開を実施

平成27年11月8日 第二回 一般公開を実施予定

第一回 一般公開の前日(5月30日)に六戸町長様、十和田観光電鉄代表取締役社長様などをお招きして開館記念式典を行いました。



ED402(左)、ED301(右)



モハ3401(左)、モハ3603(右)



※ 個人連絡先(野田)

自宅: 048-876-0102

自宅PC: IZD01662@nifty.com

個人携帯: 090-2520-2629

個人携帯アドレス: satorunoda@docomo.ne.jp

団体名	小坂鉄道保存会	連絡先（小坂鉄道レールパーク気付） 〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山字古川20-9 Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002
-----	----------------	--

保存会結成3年目 レールパークもますます充実!!

結成3年目を迎え、ますます活動が充実してきた小坂鉄道保存会。ディーゼル機関車運転体験やラッセル車操作体験の担い手として活躍しています。小坂鉄道レールパークでは、寝台特急あけぼの号（24系客車）が導入され、いよいよ宿泊施設として、また“動く、寝台特急乗車体験車両として活用することとなりました。本格運用は来年ですが、私たちも楽しい“おもてなし”で皆様をお迎えする予定です。ご期待ください。



▲大雪の中、ラッセル車操作体験も行われた



▲体験運転仕業点呼 “行ってらっしゃい、



▲ “おもてなし” も束の間の休息

小坂駅構内まるとミュージアム

小坂鉄道レールパーク

営業時間 9:00～17:00

定休日 毎週火・水曜日（祝日の場合はその翌日）

入園料 大人500円、小人250円、幼児無料

（レールバイク、観光トロッコの料金は別途）

※体験運転は予約制です。

詳細はホームページ <http://kosaka-rp.com>

Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002





昭和の情緒と豊かな田園風景を楽しめる、乗車会を開催

宮城県の北部に位置する栗原市で大正時代から運行していたのが「くりはら田園鉄道」です。旅客・貨物輸送を行った単線ローカル線で、「くりでん」の愛称で親しまれていましたが、2007年に惜しまれながら廃線となりました。

現在は、その歴史を後世に伝えていこうという趣旨から、2010年から「くりでん(KD95)乗車会」を、2014年4月からは、レール上を自転車感覚で走行できる「レールバイク乗車会」を開催しています。

1 くりでん(KD95)乗車会

2015年来場者数実績(9月末日現在)

約2,200人

運行当時の車両そのままに。
くりでんの記憶が蘇る乗車会。

現在、会場の若柳駅舎は、くりでんの歴史の伝承と発信の拠点として、開業当時の姿(大正期)の姿に復元されています。昭和を感じる佇まいの駅舎内で当時の硬券切符を購入し、改札を抜け、片道約500メートルの距離をKD95(ディーゼル気動車)で、当時の雰囲気ながらに往復運行します。



KD95

- イベント期間：6月～11月の第2日曜日
- 運行区間：片道500m
- 乗車料金：小学生以上1人200円(※運行協力金)

2 レールバイク乗車会

2015年来場者数実績(9月末日現在)

約5,500人

レール上を直接走る感覚が新鮮！
気動車とはひと味違った体験が可能。

レールバイクは、通常の自転車と同様にペダルを漕いで、レールの上を走行することができる乗り物です。レールの継ぎ目の「ガタンゴトン」という音を直に体感することができます。そのためお客様から「レールの上を自転車感覚で走れる新鮮な体験!」、「子どもたちが電車になった気分でもっと喜んで!」と好評いただいているイベントです。



レールバイク

- イベント期間：4月～11月の毎週日曜日(※不定休あり)
- 運行区間：片道300m、900mの2種類(※日によって変動)
- 乗車料金：無料

◆ 特別企画開催 ◆

■ ねじりほんによと記念撮影

栗原市マスコットキャラクター「ねじりほんによ」との記念撮影。

■ ガチンコじゃんけん対決

走行区間内にある5ヶ所の踏切で、係員とじゃんけん対決。勝利数に応じて記念品をプレゼント。

■ ガチンコ水鉄砲対決

走行区間内にある5ヶ所の踏切で、係員と水鉄砲対決。

■ キーワードを探せ

走行区間内にある文字を集めて栗原にまつわるキーワードが完成。正解者には記念品をプレゼント。

■ くりでんオリジナル缶バッジ作成体験

くりでんロゴマークのスタンプなどを使って、缶バッジを作製。

■ 光源クリハラライザーショー

栗原市のご当地ヒーロー「光源クリハラライザー」のショーを開催。

■ DB10(ディーゼル気動車)特別運行

通常、構内展示のみのDB10(ディーゼル機関車)を特別運行。

■ プラレールコーナー

駅車内にプラレールを使って自由に遊ぶコーナーを設置。

など



DB10(ディーゼル気動車)特別運行



光源クリハラライザーショー



新たに整備された芝生広場



ねじりほんによと撮影

団体名	真岡線 S L 運行協議会	〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷 4 4 1 2 番地 TEL 0285(82)9151 FAX 0285(82)9152
-----	---------------	--



「S L もおか」 2 0 1 5 冬・運行日程

【運行日】	11月 1日・ 3日・ 7日・ 8日・14日・15日・21日 22日・23日・28日・29日 12月 5日・ 6日・12日・13日・19日・20日・23日 1月 9日・10日・11日・16日・17日・23日・24日
【運行区間】	真岡鐵道 下館駅～茂木駅（41.9キロ）
【運行時間】	下り 下館駅10：35発～茂木駅12：06着 上り 茂木駅14：26発～下館駅15：56着
【運行車両】	S L C12形66号 C11形325号 P C オハ2両、オハフ1両 D L DE10 1535 1両

〔近況報告〕

◆平成27年11月29日（日）、第6回真岡鐵道S L フェスタ開催！

・今年で6回目となる「真岡鐵道S L フェスタ」を開催いたします！

詳細はまだ未定ですが、静岡県から移設されたD51のお披露目となる記念すべきフェスタとなります。その他、楽しいイベント盛りだくさんで開催する予定となっておりますので、沿線の方や真岡鐵道ファンの皆様、そしてS L ファンの方のお越しをお待ちしております。



▲D51 移設の様子



◆7月、8月にて夏休みS L イベントを実施

・今年も子どもたちの夏休み期間にあわせて、夏休みS L イベント「S L 教室」・「S L ガイド体験」等を開催しました。大変暑い中、多くの参加者にお申し込み頂き、S L もおかの旅を楽しんで頂きました。



▲体験参加者の記念撮影
（S L ガイド体験）



▲運転室にてS L の仕組みを
学ぶ参加者（S L 教室）



▲ボランティアスタッフから説
明を受ける参加者（S L 教室）

けいてつ協会 (NPO 法人足尾歴史館)

NPO 法人足尾歴史館

〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原 2825

TEL : 0288-93-0189(毎週月曜定休 10～16)



▲足尾歴史館の「足尾ガソリン軌道・歴史館線」は、毎年 4～11 月の第一土・日曜日運行します。



▲今年度は新たに足尾駅に車掌車のヨ 8929 が動態保存機として加わりました。



▲足尾歴史館野外展示場に各種保存されています機関車たちも徐々に整備が始まりました。画像は加藤製作所 5t機



▲そろそろ再度の外販修理をしないと考えております足尾駅保存のキハ 35 70(手前)とキハ 30 35(後ろ)

当会の活動場所は栃木県日光市足尾町にあります NPO 法人足尾歴史館及び、わたらせ渓谷鐵道の足尾駅旧貨物ホーム付近です。実質的には、足尾歴史館のボランティアとしての活動が主力となっております。

近況報告としては、足尾歴史館の野外にあります保存鐵道の“足尾ガソリン軌道・歴史館線”の運行のお手伝いをしております。この復元路線は、昭和 20 年代に街中を走っておりました通称：ガソリンカーと呼ばれた鉱山関係者用の便乗トロッコ列車を忠実に車両復元したもので、毎月の第一土・日曜日が運行日となっております。また、各地から保存のために集められたナローゲージの機関車やトロッコたちが、数多くいます。そのなかでも、たいへん珍しい変速機「フリクションドライブ(摩擦伝導装置)」を持つ米川鉄工所製(製造推定戦前)の 3.5 トンガソリン機関車の本線上での試運転が始まりました。いずれ、本格的な動態保存公開に向けて作業をしております。

次に、わたらせ渓谷鐵道足尾駅旧貨物ホーム付近での活動ですが、足尾歴史館管理となっておりますキハ 35-70 とキハ 30-35 の他に、足尾線で活躍していた硫酸専用タンク貨車のタキ 29312 他、入換用機関車多数を一部動態保存しております。これらを年 3 回にて一般公開を始めました。また、今年度は新たに車掌車のヨ 8928 が、動態保存車として加わりました。

今後も、各地から行き場のない“特殊な鉄道車両”たちを集めて、整備・展示・保存するボランティア活動を続けます。※足尾駅の活動につきましては、わたらせ渓谷鐵道及び、古河機械金属に了解を経ております。

【運行日】NPO 足尾歴史館・足尾ガソリン軌道歴史館線

毎年 4～11 月までの第一土・日曜日。足尾駅の保存車両は毎年 3 回ほど一般公開【保存車両】NPO 足尾歴史館・足尾ガソリン軌道歴史館線では復元された昭和 29 年まで町内を走っていたガソリンカー他多数の軌間 610mm のナローゲージ車両たち足尾駅構内の保存車両は協三工業製 10t ディーゼル機関車・日立製作所製 15t ロッド式ディーゼル機関車アント工業製アント 15 型貨車移動機・タキ 29312・タキ 35811・ヨ 8928・キハ 35 70・キハ 30 35

鹿島鉄道保存会 ＜鹿島鉄道記念館＞

〒113-0033
東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル11階 (株)バレア内
TEL 03-5802-2755 FAX 03-3818-2700
E-mail info@kashitetsu.com
URL <https://www.facebook.com/kashitetsu>

鹿島鉄道保存会は、平成19年3月末をもって営業廃止した鹿島鉄道線(石岡～鉾田間27.2km)の物品・資料の収集や茨城県小美玉市にある私設・鹿島鉄道記念館(普段は非公開)の保存展示など運営サポートを行っている任意団体です。旧かしてつ応援団をはじめとする存続運動関係者や鹿島鉄道応援ホームページメンバーなどの有志約20名で構成され、年齢や職業も多岐に渡り「鹿島鉄道が心の底から好きだった」という共通認識でつながっています。



元夕張鉄道出身のキハ714



キハ431車内の清掃活動



常陸小川駅の運賃表、時刻表など



平成元年製のKR-501

【保存車両】

- キハ714(昭和28年新潟鉄工所 元夕張鉄道キハ251)
- KR-501(平成元年新潟鉄工所 鹿島鉄道自社発注車)
- キハ431(昭和32年東急車輛 元加越能鉄道キハ125)

【保存建物】

- 玉里駅上りホーム待合室
- 駅名板、信号機その他多くの鹿島鉄道関連グッズ、存続運動資料等を収蔵

【一般公開】

平成21年3月の記念館完成後、鉄道ファン向けの一般公開(事前予約制)、見学団体受け入れや自治体とのイベント共催による特別公開を数回実施していますが、平成24年11月以降はスタッフ多忙などの理由で実施していません。今後については、現在未定ですが、鉄道ファン向けだけでなく、地元住民を対象とした一般公開を実施したいと考えています。公開が決定した場合は、当会Facebookページでご案内する予定です。

団体名

鉾田駅保存会

〒311-1528

茨城県鉾田市当間220ほっとパーク鉾田

TEL029-239-6735

e-mail:hokota-station@rail.nifty.com



2007年3月31日に廃止になった鹿島鉄道の2両の気動車、キハ601とKR-505の保存活動を、2両が保存されている、茨城県鉾田市の市営温泉施設『ほっとパーク鉾田』で行っています。

2012～14年度は、車両の補修・塗装作業と、毎月第4日曜日の定期車内公開を実施しました。

2015年度も、車両の補修・塗装作業と、毎月第4日曜日の定期車内公開を実施しています。

当会が保存活動を行っている、鹿島鉄道の気動車、キハ601とKR-505は2008年1月に当会が鹿島鉄道殿から購入したものでした。

鉾田駅保存会は、賃借した鉾田駅跡地において2両の気動車の保存活動を実施していました。

その後紆余曲折があり、鉾田市議会の議決により市の温泉施設『ほっとパーク鉾田』において2両の保存をすることになり、当会は2両を鉾田市に寄付し、鉾田駅の保存車両は2009年12月24日に『ほっとパーク鉾田』に移送されました。その後当会は引き続き2両の気動車の保存活動をしています。



東日本大震災被害の復旧作業



展示状態

月例の定期公開では、保存活動の周知と、鹿島鉄道を知らない年少世代への記憶の継承を目的に、下記の様な企画を行っています。

- (1) KR-505車内でのプラレール遊び
- (2) キハ601車内での鉄道模型展示・運転(N・HOゲージ 鉾田駅・常陸小川駅のジオラマ等)
- (3) 5インチ乗用鉄道の体験乗車(16m×10mオーバル)
- (4) 鉾田駅保存会製作のグッズの販売
- (5) 鹿島鉄道関連書籍の展示
- (6) 保存活動内容の展示

東日本大震災では展示線路盤の液状化等により床下機器にも被害が及び修復に取り組んでいます。

対外活動として、鉾田市主催の『鉾田うまっぺフェスタ』や、『ほこたマラソン』『鉾田花火大会』『石岡市商工祭』『いしおか七夕まつり』などの地域行事に参加・協力し、広報活動を行っています。

昨年度末は、キハ601の屋根と妻部の腐食部位の補修と妻部付近の部分塗装・屋根の全塗装を行いました。

今年度は7月中旬に小美玉市の『そらのえきそ・ら・ら』に出展し活動内容の広報などを行いました。

8月は巴川流域4市町の小学生が対象の『巴川探検隊』の体験学習に協力し、鹿島鉄道と保存車両と活動の説明を行いました、また天候悪化のためキハ601車内を臨時教室として提供しました。

8月よりKR-505の腐食部位補修と全塗装に着手しています。11月中旬の完了を予定しています。

また、12月末より来年3月にかけて、定例の補修期間でのキハ601の全塗装を計画しています。

今年度の定期公開予定日は、11/22(日)・12/23(水)・3/27(日)の予定です。

イベント参加予定は、鉾田うまっぺフェスタ:10/24(土)・25(日)、鉾田マラソン他です。

臨時公開予定日は、鉾田マラソン協賛公開:12/20(日)・廃線9周年公開:3/31(木)です。

一般財団法人 碓氷峠交流記念財団
碓氷峠鉄道文化むら

〒379-0301

群馬県安中市松井田町横川407-16

TEL 027-380-4163 FAX 027-380-4111

e-mail bunkamura@usuitouge.com

URL <http://www.usuitouge.com/bunkamura/>

碓氷峠鉄道文化むらは群馬県の南西部に位置し、碓氷峠をはさんで長野県の軽井沢町と接しています。峠のシェルパEF63形機関車の基地であった旧横川機関区の跡地で、東京ドーム3.5個分のスペースがあります。

峠の鉄道の歴史は古く、明治の初めに東京～京都間を信越本線経由で結ぶと決定されましたが、明治19年にこの峠が難関のため東海道本線経由に変更された経緯のある所です。しかし、明治26年には日本で初のアプト式鉄道の採用で開通しましたが、11.2kmで標高差553mもあり、トンネル区間が多いため当時蒸気機関車の煙害防止のため、明治45年にこれまた日本初の電化区間となりました。日本の鉄道技術の発展はこの峠から生まれたと言っても過言ではない線区でした。

時移り平成9年、長野オリンピックの開催を控えて、同年10月1日の長野新幹線の開業と同時に併行在来線として104年の歴史にピリオドを打ちました。旧機関区周辺は鉄道の街として発展してきましたが、廃止に伴う過疎化防止と地域経済の核として、群馬県・旧松井田町・JR東日本の協力により平成11年4月にオープンしました。

信越本線横川～軽井沢間(通称、碓氷線)は廃線後早17年が経とうとしており、廃線間際の熱気も潮が引くように静かになってしまいましたが、この廃線敷を使い近代化遺産第1号に指定されている、丸山変電所跡を通り峠の湯までの2.6kmを3月～11月の間の土日祝日と8月の毎日、トロッコ列車が運行しています。

また日本で唯一のEF63形電気機関車の体験運転も2,555人が受講されています。平成26年度は126名の受講者(男性88名・女性4名)があり、のべ3,006回の体験を楽しみました。また、通算500回以上運転された方が4名おります。27年度も引き続き多くのお客様が受講され、運転体験を楽しまれています。

平成25年4月1日、公益法人制度改革により、当財団は一般財団法人へ移行いたしました。



運転体験で使用しているEF63形電気機関車



トロッコ列車シェルパ君

団体名

デハ3499号車保存会

http://www.mc-tc.net/3499_report/

■事務局

331-0802

埼玉県さいたま市北区本郷町313 C-3

■車輛設置場所

371-0102

群馬県前橋市富士見町皆沢315-16

■メールアドレス

moha565_deha3499@mc-tc.net

■デハ3499について

デハ3499は、東京急行電鉄(東急)の前身目黒蒲田電鉄・東京横浜電鉄が共同発注したモハ510形の最終番号モハ565として、1936年(昭和11年)に神戸の川崎車両製造で製造されました。モハ510形は50両という、私鉄電車としては単一形式の戦前最多量産記録を持っています。鉄道敷設と宅地開発を一体的に進める事業を生涯かけて邁進した東急総帥五島慶太の、事業に賭ける意気込みの一端を垣間見るものだと思います。

大東急併合に伴い、デハ3450形3499となり、両運転台の特徴を活かし営業用から機関車代用など幅広く使用されました。1989年の3000系列営業運転引退後、デハ3499は架線検測車デヤ3001と共に牽引・入換用等の事業用に専念しますが、田園都市線ATC化に伴い、1992年の「東急70周年記念電車」での(旧)目蒲線におけるイベント運行を事実上のさよなら運転として、翌93年除籍、東急車輛製造に譲渡され、金沢八景-京急神武寺間における新車搬出等の牽引車として活躍しました。2002年に同じく東急から7000系譲渡に伴い引退、その後は工場敷地の一角に保管されていたものを、縁あって2010年譲り受け、赤城山麓に設置、修復活動を行っています。



■本年度の活動について

腐食が甚だしかった側面裾部の外板切り継ぎ溶接について、所有者の了解のもとエンジン溶接機を車内に持ち込み常設することで、格段に作業が進展しました。現在側面は2位空気側端部の1m程度と、乗務員扉裾部などを残すのみとなっています。

2位側前面に損傷箇所があり、これが最後の難関になると予想しています。

屋根については、8月下旬に足場部材の追加購入を行い、修理困難箇所の対応を行いました。

これらが終わればいよいよパテ付け下地処理のうえ塗装作業が現実味を帯びますが、やらなければならないことがあまりに多い一方で、塩害や高温等による腐食拡大の心配は他地域に比べ少ないものの、夏季の酷暑、冬季は空っ風に厳寒と作業に適した期間が短く、すぐに1年が経過してしまう感は否めません。

■対外的活動及び今後について

お越しいただいた方には積極的に車内などをお見せし、専門性などについて来場者に応じた解説を心がけています。

今なお修復作業にやらねばならないことが多いですが、当初より目指している博物館資料的ポリシーからどのような対外的活用を図るべきか、検討・行動すべき時期に掛かっていると思います。



■活動日とアクセス

原則第三土曜日を公開活動日とし、その他随時実施しています。

前橋駅前6番バス乗り場より

赤城山ビジターセンター行 龍の口下車徒歩10分

赤城青少年交流の家行(夏季のみ) 総合グランド

下車すぐ

■Facebookグループ

<https://www.facebook.com/groups/220335524843931/>

団体名

日本工業大学 工業技術博物館

345-8501

埼玉県 南埼玉郡 宮代町 学園台 4-1

Tel. 0480-34-4111 (大学代表)

Fax. 0480-33-7570 (博物館直通)



製造されて118年、疾走する2109号蒸気機関車の勇姿

2015(平成27)年度の運転について

1993年9月に大井川鉄道より本学に寄贈され、年に2度の洗缶作業を行い、2007年度にボイラー煙管172本とステー管16本を交換して、動態保存を実施している。2012年度の右側シリンダーの補修作業後の有火運転も無事に再開している。

2109号蒸気機関車を、原則として8月と12月を除く毎月第3土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。上記の写真にキャンパス内で運転中の様子を示す。

このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行っており、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。

また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

平成27年度の有火運転実績

運転日	運転時刻	備考
5月16日(土)	13:00~15:00	定期運転
6月27日(土)	13:00~15:00	定期運転
7月18日(土)	13:00~15:00	オープンキャンパス
9月19日(土)	13:00~15:00	定期運転

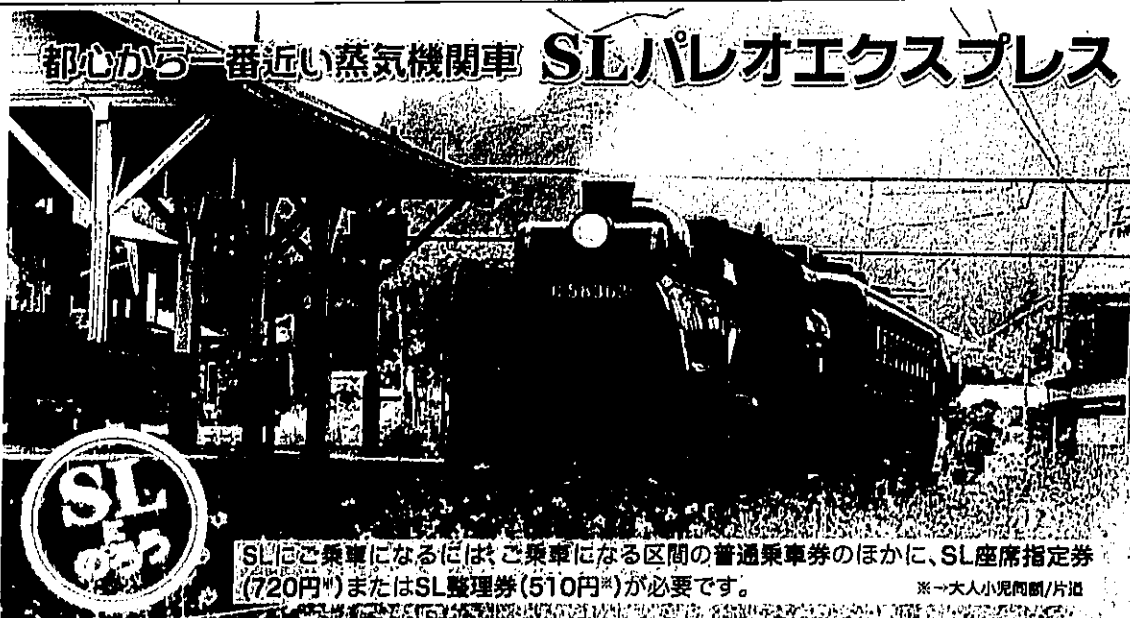
平成27年度の今後の有火運転予定

運転日	運転時刻	備考
10月17日(土)	13:00~15:00	定期運転
11月 1日(日)	13:00~15:00	大学祭・ホームカミングデー
11月28日(土)	13:00~15:00	親子サイエンススクール
2月20日(土)	13:00~15:00	定期運転

(平成27年 9月30日現在)

団 体 名	秩父鉄道株式会社	〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町1丁目1番地 TEL048-523-3337 fax048-526-0551
-------	----------	--

都心から一番近い蒸気機関車 **SLパレオエクスプレス**



SLにご乗車になるには、ご乗車になる区間の普通乗車券のほかに、SL座席指定券(720円*)またはSL整理券(510円*)が必要です。 ※→大人小児同額/片道

●SL座席指定券、SL整理券は運転日の一ヶ月前から指定箇所が発売しております。なお、発売枚数に限りがあります。詳しくはホームページをご覧ください。か、秩父鉄道SL係(048-523-3317)へお問合せください。

運 転 ス ケ ジ ュ ー ル

9月

5㊥ 6㊥ 12㊥ 13㊥ 19㊥
20㊥ 21㊥ 22㊥ 23㊥ 26㊥

10月

3㊥ 4㊥ 10㊥ 11㊥ 12㊥
17㊥ 18㊥ 24㊥ 25㊥ 31㊥

11月

1㊥ 2㊥ 3㊥ 6㊥ 7㊥
8㊥ 13㊥ 14㊥ 15㊥ 16㊥
20㊥ 21㊥ 22㊥ 23㊥ 27㊥
28㊥ 29㊥

12月

3㊥ 5㊥ 6㊥

12月6日までSL停車駅にスタンプ設置中

SLスタンプラリー2015

SL整理券・SL座席指定券をお買い求めの方に「SLスタンプラリー応募シート」をお渡しします。

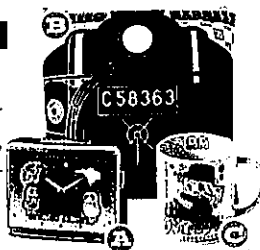
抽選は2ヶ月に1回おこないます
(8月・10月・12月末日)

SLパレオエクスプレス賞

A賞 各回10名さま
目覚まし時計

B賞 各回20名さま
ピースクッション

C賞 各回30名さま
SL×桜沢みな
マグカップ



※詳しくは、SLスタンプラリー専用応募シートをご覧ください。

ちょびり乗ってみたい方にオススメ

SLわくわくチケット

20%
OFF

●発売日 12月6日㊥ までのSL運転日

●発売金額 乗車券+SL整理券(自由席)

秩父→三峰口 大人 980円→790円
または三峰口→秩父 小児 750円→610円

御花畑→三峰口 大人 950円→770円
または三峰口→御花畑 小児 730円→590円

●発売窓口 秩父・御花畑・三峰口駅

※事前予約は必要ありません。当日駅窓口でお買い求めいただけます。ただし、発売枚数に限りがあります。

※団体のお客さま(15名さま以上)はご利用いただけません。

運転時刻表(熊谷→三峰口間1日一往復)

※運転状況により運転時刻が変更になる場合があります

平 日		SL 停車駅	土曜・休日	
くだり (ゆき)	のぼり (かえり)		くだり (ゆき)	のぼり (かえり)
10:12	16:20	熊 谷	10:10	16:18
10:34	16:00	武 川	10:33	15:58
10:59	15:41	寄 居	11:00	15:39
11:32	15:10	長 瀬	11:37	15:13
11:45	14:50	皆 野	11:50	14:55
12:11	14:32	秩 父	12:15	14:36
12:15	14:27	御花畑	12:19	14:31
12:45	14:00	三峰口	12:50	14:03

SL整理券(自由席)は
WEB予約ができます

○運転日の一ヶ月前から前日15時まで承ります。

※混雑時は、締切日を待たずに受付を終了する場合があります。

○WEB予約ご利用の方に「オリジナル缶バッジ」プレゼント中♪



※デザインが変更になる場合があります

団体名 東日本旅客鉄道株式会社／公益財団法人東日本鉄道文化財団

館名 鉄道博物館 (THE RAILWAY MUSEUM)

【所在地】〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 3-47

【TEL】048-651-0088 【FAX】048-651-0570 【URL】<http://www.railway-museum.jp/>

【沿革】2007(平成 19)年 10 月 14 日開館

【お知らせ】

●ボルティモア&オハイオ鉄道博物館展

当館は 2014 年 9 月 5 日に、アメリカ合衆国メリーランド州所在のボルティモア&オハイオ鉄道博物館 (Baltimore & Ohio Railroad Museum) と姉妹提携しました。同博物館は、米国における鉄道発祥の地に位置し、200 両におよぶ車両や多数の鉄道に関する資料を収蔵している、大変由緒ある博物館です。本展では、同博物館の紹介と合わせて、南北戦争ゆかりの地であるボルティモア市についても紹介します。

期間：2015 年 9 月 19 日～2015 年 12 月 6 日

場所：2F スペシャルギャラリー2



B&O NO. 305 「キャメル」

●大宮駅・宇都宮線開業 130 周年記念企画展

OH! MIYA HISTORY

今から 130 年前の 1885 (明治 18) 年 3 月 16 日、日本初の私設鉄道である日本鉄道会社が大宮駅を開設し、大王年 7 月 16 日には大宮～宇都宮間が開業しました。その後、大宮には鉄道工場や操車場なども設置され、しだいに「鉄道の街」として発展していきました。本展では、大宮およびその周辺エリアの鉄道の歴史と発展について紹介いたします。

期間：2015 年 10 月 10 日～2016 年 2 月 14 日

場所：2F スペシャルギャラリー1



初代大宮駅 1914 (大正 3) 年

団体名	西武鉄道株式会社 池袋線車両所 横瀬車両基地	連絡先 〒357-0063 埼玉県飯能市飯能937-1 池袋線車両所 武蔵丘車両基地
-----	------------------------------	---

◇ 車両基地の概要

1970年（昭和45年）1月、西武秩父線開業を受け電気機関車・貨車専用基地として埼玉県横瀬町に開設。その後所沢検車区の支区となったが、1989年（平成元年）9月に所沢車両管理所の廃止により、業務を統合して横瀬車両管理所となった。

開設当初は武甲山から採掘される石灰石を原料とするセメント輸送が盛んであったが、トラック輸送への転換でセメント輸送は1996年（平成8年）3月末に廃止となり、バラスト輸送のためのE31形電気機関車と貨車を残すのみとなった。2008年（平成20年）7月に機関車によるバラスト輸送が廃止となり、機関車は甲種車両輸送で活躍するだけとなった。2010年（平成22年）3月にE31形電気機関車も廃車となり、甲種車両輸送は全車電動車に改造した101系4両編成が代わりに行うこととなり、西武鉄道における電気機関車の歴史も幕を閉じた。E31形電気機関車はその後3両が大井川鉄道へ譲渡となり、第二の活躍の場を得ることができた。2014年（平成26年）2月の大雪により建屋の屋根が一部崩落するとともに保存車両にも損害が発生した。建屋が危険な状態となったため基礎部分を残し解体作業が行われ、10月に作業が終了している。保存車両の今後の扱いについては現在検討中である。

◇ 保存車両

横瀬車両基地には電気機関車6両（E43・E52・E61・E71・E31・E854）、特急レッドアローを含む電車6両（クモハ355・クハ5503・クハ1224・クハ3011・3012・モハ3212）および5000系前頭部（クハ5504）が静態保存されている。また、旧保谷車両基地には蒸気機関車（5号）と電気機関車（E11）が静態保存されており、2012年には100年アニバーサリーイベントとして修復されて公開された。以下、横瀬車両基地に保存されている車両を紹介する。

<5000系 クハ5503>

1969年（昭和44年）10月の西武秩父線開業に合わせ新造された特急車両。4両編成で新製され最終的には前編成6両編成となった。最後に廃車された5503編成の両先頭車2両が静態保存となった。



<クモハ351形 クモハ355>

1954年（昭和29年）から1956年（昭和31年）にかけて新製された17m級の小型車体車両。1990年（平成2年）6月廃車となった。



<101系 か1224>

1969年（昭和44年）の西武秩父線開業に合わせて山岳路線を走行するための高出力・高ブレーキ性能の車両として登場。登場時は「ASカー(All round Service Car)」とも称された。1976年（昭和51年）までに4両編成50本（200両）と6両編成13本（78両）の計278両が新製された。



<E31形 E31>

1986年（昭和61年）から翌1987年（昭和62年）にかけて西武鉄道所沢車両工場にて4両が製造された小型直流用電気機関車外観は西武鉄道の在来大型機関車であるE851型のデザインラインを継承している。



<E61形 E61>

1923年（大正12年）鉄道省がアメリカのゼネラル・エレクトリック社より輸入した。車体は箱型で、その前後にデッキを有しており屋根上には2基のパンタグラフを設けており、同時期に輸入されたイギリス製に比べ無骨さは影を潜めている。



<E851形 E854>

1969年（昭和44年）の西武秩父線開通に際して、秩父方面から正丸峠を越えてセメント輸送列車が運行されることとなり、民鉄最大級の機関車として三菱重工業（車体）及び三菱電機（電気機器）において4両が製造された。



<E71形 E71>

1925年（大正14年）アメリカのウェスチングハウス・エレクトリック社（車体・電気品）及びボールドウィン社（機械類）で製造された。現在は国鉄時代の塗装に復元、ナンバーもED10に戻されている。



<E51形 E52>

1923年（大正12年）スイスのブラウンボベリ社及びロコモティブ・アンド・マシンワークスで共同製造された。車体はスイスの機関車らしく全体的に角の取れたデザインとなっていて、パンタグラフ集電舟が1本しかないのが特徴である。



<E41形 E43>

1926年（大正15年）から1929年（昭和4年）にかけてイギリスのイングリッシュ・エレクトリック社にて製造された。前後にデッキを備えた箱型車体で、正面窓に対して乗務員室窓が向って左側にオフセットされた配置が独特である。デッキは台車が車体前後へ張り出したその上に設置されている。



団体名	一般財団法人 東武博物館	〒131-0032 東京都墨田区東向島4-28-16 ☎03-3614-8811 / Fax03-3614-8814 http://www.tobu.co.jp/museum
-----	--------------	--

◆概要

東武鉄道の創立90周年を記念して、1989(平成元)年5月20日にオープンしました。
身近な交通機関である鉄道やバスに親しみ、理解していただけるよう、館内を8つのコーナーに分けて構成し、東武鉄道の歴史や文化・役割を紹介しています。
郷愁を誘うダイナミックな蒸気機関車をはじめ、実物車両や記念物などの貴重な資料を展示している一方で、交通のしくみを実際に見て、触れて、体感できるようシミュレータや実物機器を設置しています。
また、博物館の真上を走行する車両を至近距離から観察できる、立地を活かしたコーナーも設けたリアルタイム感覚で楽しめる体験型のミュージアムです。

◆保存車両

【静態保存】

明治31年英国バヤーピーコック社製蒸気機関車2両・大正13年日本車輛製2軸木造電動客車・昭和3年英国イングリッシュ・エレクトリック社製ED101形101号・昭和26年汽車会社製5700形5701号他さまざまなジャンルの車両12両

【動態保存】

昭和38年製8000系8111編成(6両)



8000系8111編成は動態保存のため、団体専用車としてご利用いただいています。
その他、今年5月には東武キッズサイト“TOBU BomBo Kids”(と〜ぶボンボキッズ)の東京スカイツリータウン®開業3周年記念特別企画の「ペンギントレイン」として、車内でペンギンを観察しながら乗車いただくなど、イベント列車としても活躍しています。



団体名	公益財団法人 日本ナショナルトラスト 	〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル TEL 03-6380-8511 FAX 03-3237-1190
-----	---	---

トラストトレインは、日本で最初に市民の募金により取得し、保存・活用している歴史的車両です。1987年7月25日から大井川鐵道株式会社の協力を得て運転を開始し、多くの方々からの寄付金やボランティア活動に支えられ20年以上走り続けてきました。(公財)日本ナショナルトラストでは、今後もこれらの鉄道にかかわる文化遺産を末永く後世へ継承していくため、活動を続けてまいります。



○2015年「トラストトレイン」運転日

【運転日】4/18、6/13、7/4、8/22、10/3の計5回 ※8/22は「親子ボランティア」

【区間】大井川鐵道 新金谷 — 千頭間 (37.2km)

【保有車両の編成】

スハフ43形2・3号客車、オハニ36形7号荷物合造客車、C12形タンク式蒸気機関車
 ※C12は現在休車中

【運行時間】新金谷駅 11:45 発→千頭駅 13:06 着 千頭駅 14:53 発→新金谷駅 16:09 着

【近況報告】「親子ボランティア」の開催

毎年恒例のトラストトレイン親子ボランティアを、今年は8月22日(土)に実施しました。ベテランボランティアさんには運営サポートにまわっていただき、受付や誘導、安全管理などにご協力いただきました。「また来年も参加したい」というお子様の言葉が何よりうれしかったです。来年はさらに充実した親子ボランティアを目指します！
 ～当日のプログラム～



SL磨き体験、SL乗車、クイズ、車内アナウンス体験、客車の清掃、汽笛鳴らし体験等

◆ボランティア募集◆

トラストトレインでは、8月の親子ボランティアも含め、年に5回ボランティアによる運行を行っています。運行日にはパンフレット配りや客車内の清掃にご協力いただきます。ご興味がありましたら、(公財)日本ナショナルトラストまでお問い合わせください。

※来年の運行日は決まり次第、HP等でお知らせいたします。

団体名 公益財団法人交通協力会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903 号
電話 03-6269-9808 FAX 03-6269-9809

沿革

当会の源流は、大戦中の 1943(昭和 18)年に鉄道省が設立した財団法人陸運協力会に遡ります。それまで民間企業に依存していた鉄道関係の新聞・雑誌・書籍の刊行が紙の統制のため困難となったという事情が背景にありました。同年 4 月、日刊紙『陸輸新報』の刊行が始まり、各種の雑誌も戦時下の困難を乗り越えて発刊しました。

戦後は名称を財団法人交通協力会と改め、『陸輸新報』も『交通新聞』と改称し、『交通年鑑』と『交通技術』誌を発刊、1949(昭和 24)年の公共企業体日本国有鉄道の発足とともに『国有鉄道』・『国鉄線』の両誌を発刊しました。これらの雑誌はいずれも国鉄の機関誌として、1987 年の国鉄改革まで継続発行されました。この間、鉄道創業 80 周年記念事業として国鉄が編纂した『鉄道辞典』や、100 周年記念に国鉄が編纂した『日本国有鉄道百年史』も、同会が刊行しました。

1987(昭和 62)年の国鉄改革にあたり、新聞・雑誌の刊行や書籍出版事業は新たに発足した株式会社交通新聞社に引き継ぎ、当会は交通図書賞の選定表彰など、非営利の公益事業に専念することとなり、2011(平成 23)年には公益財団法人交通協力会として新たな出発をしました。

電子図書館「戦中戦後の交通と国有鉄道」

交通関係の年次刊行物や、旧国鉄の機関誌類を電子復刻し、電子図書館に収蔵しています。既に『交通年鑑』・『日本国有鉄道監査報告書』・『国有鉄道』・『国鉄線』・『交通技術』・『鉄道辞典』を全冊収蔵し、今後『日本国有鉄道百年史』などを収蔵する予定です。

当会ホームページ <http://transport.or.jp> の電子図書館にアクセスし、ID・パスワードを入手すると、無料で閲覧することができます。

鉄道史編纂の準備事業

わが国の鉄道は 2022 年 10 月に創業 150 年を迎えます。過去には、創業 50 年を記念して鉄道省が『日本鉄道史』(上中下三篇)を、創業 100 年を記念して日本国有鉄道が『日本国有鉄道百年史』(本冊 14 巻など全 19 巻)を編纂・刊行しました。来る創業 150 年は新しい鉄道史編纂の好機となりますが、国鉄改革から 30 年弱を経た今日、とりわけ旧国鉄時代の資料の発掘・整理・保存が大きな課題となっています。

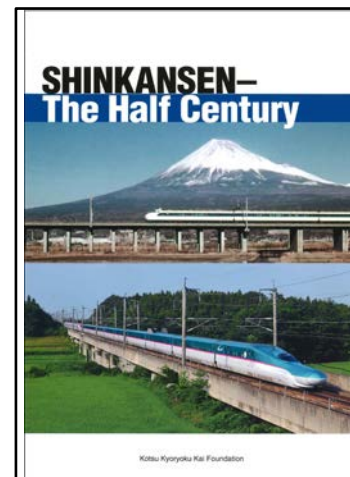
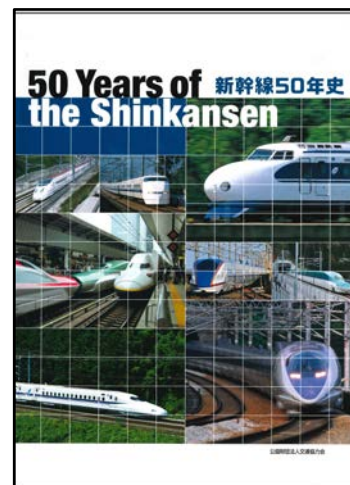
当会は 2012 年に鉄道史資料調査センターを設置し、専任の研究者によって、国の内外に存在する資料・文献などの所在確認と目録作成、鉄道 OB など個人所蔵資料の保存、旧国鉄幹部等のオーラル・ヒストリー作成、などの調査・研究活動を行い、将来の鉄道史編纂の準備作業を担っています。

『新幹線 50 年史』『SHINKANSEN—The Half Century』の刊行

昨年に東海道新幹線開業 50 年を迎えたことを記念して、今年 3 月『新幹線 50 年史』を刊行しました。国土交通省・JR 各社・日本交通協会・日本鉄道技術協会などの全面協力を得て、各組織の現役の専門家のほか、新幹線に詳しい旧国鉄 OB が執筆し、東海道・山陽・東北・九州などの各新幹線、近く開業予定の北海道新幹線についての記述を網羅しています。

また、『50 年史』の英語要約版である『SHINKANSEN—The Half Century』も今年 7 月に刊行し、多くの読者よりご好評をいただいております。

車両や輸送の話題だけでなく、安全対策、災害対策、騒音振動の防止、軌道・架線・車両の保守なども取り上げ、豊富な写真・図表を掲載している新幹線史の決定版です。日本語版が 9000 円、英語版が 5000 円(税込)です。お買い求めの上、ご愛用いただければ幸いです。



団体名	神奈川新聞社 「横浜市電 1156 号保存会 (神奈川新聞社)」	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 神奈川新聞社文化部・齊藤大起(さいとう・ひろき) 携帯電話: 090(9015)3707 メール: hi-saito@kanagawa-shimbun.jp 神奈川新聞ウェブサイト「カナロコ」→「CULTURE」→「鉄道」
-----	--	---

【団体の趣旨】

横浜市港南・磯子区の久良岐(くらぎ)公園に展示されている「横浜市電 1156 号」を、修復・維持するとともに、2012 年 4 月から一般公開イベントを開催しています。1156 号は横浜市電 1150 号型の最後の現存車であり、1972 年に全廃された横浜市電の保存車両の中でも、貴重な存在です。「街に市電が走っていたころ」を伝える貴重な遺産と位置づけ、横浜市や地元企業、市民の皆さんと協力しながら、後世に伝えるべく活動しています。

【保存の経緯】

2010 年末、神奈川新聞の記者が 1156 号の「解体」の知らせを聞き、横浜市に修復を申し出たことがきっかけです。その後、同公園近くの塗装業「サクラ」が地域貢献の一環でボランティアによる修復作業に協力してくれることになり、2011 年 11 月、1156 号の所有者である横浜市環境創造局、株式会社サクラ、神奈川新聞社の 3 者が、市電保存に関する「覚書」を締結。神奈川新聞社は、紙面を通じた広報や、修復に際しての時代考証、資料・部品の調達などを担当し、サクラは、板金やガラス加工、電気などの業者とともに大規模な工事を担当しました。修復は 2012 年 1 月から 4 月にかけて実施し、内外の修復と再塗装に加え、ヘッドライトや室内灯の点灯も可能となりました。また 2014 年 2 月には横浜市が展示場の大改修を実施し、架線や電停標識を設置。道路から発掘されたレールを埋め込み、市電線路の“延伸”も実現しました。

【現在の活動】

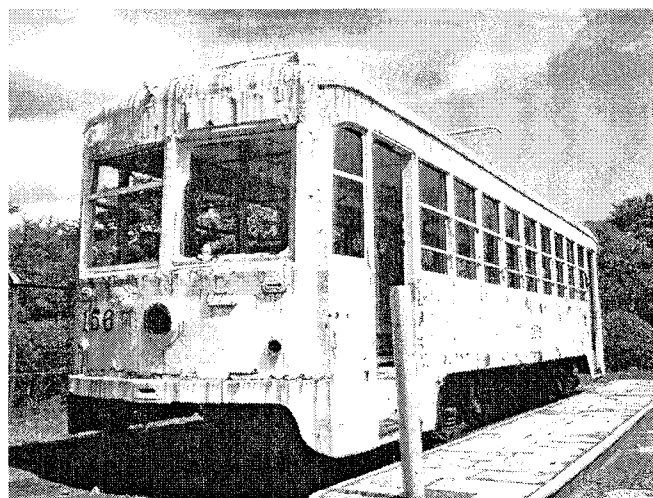
1 カ月に 1 回程度、車内公開イベントを開催しています。並行して清掃と修繕も行います。また、かつて市電に勤めていた方々への聞き取りや、神奈川新聞社などが所蔵する現役時代の市電の写真の保存活用も進めています。

【横浜市電とは】

1904(明治 37)年に開業した路面電車。最盛期には総延長 51.79 キロの路線を運行、年間 1 億 2 千万人を輸送したが、

道路渋滞や国鉄根岸線の開業などの影響で、1966(昭和 41)年から順次廃止され、1972(昭和 47)年 3 月 31 日に全廃。現存車両は、横浜市磯子区の「市電保存館」の 7 両のほか、横浜市内に 4 両(野毛山動物園、久良岐公園、県警交通安全センター、市立中田小学校)が残るのみ。

(写真左: 2015 年 8 月、右: 2011 年 9 月)



団体名	新潟市新津鉄道資料館	〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町 2-5-6 TEL 0250 (24) 5700 FAX 0250 (25) 7808 E-mail : railwaymuseum@city.niigata.lg.jp URL : http://www.ncnrm.com/
-----	------------	---

◆新津鉄道資料館概要

昭和58年、旧新津市が新津市鉄道資料館をオープンしました。平成10年4月、旧国鉄から鉄道職員研修所「新潟鉄道学園」を買い取って改修し、2代目新津鉄道資料館としてオープンしました。展示資料の約2,000点で旧国鉄時代の実物資料や鉄道学園時代の資料などが特徴の施設でした。平成17年に新潟市との広域合併により「新潟市新津鉄道資料館」と改名されました。平成24年度から開館30周年を記念し、リニューアル事業を開始し、200系新幹線、蒸気機関車C57形19号機など実車を導入し、平成27年7月19日にリニューアルオープンしました。

新津地域は信越本線・羽越本線・磐越西線が交差する鉄道の要地であり、現在でも鉄道にたずさわる人々が多く暮らしています。新潟市新津鉄道資料館は、新津地域に根付いた鉄道文化を地域資源として地元とともに最大限活用していきたいと考えています。

◆施設概要

1. 位置 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
2. 交通 信越本線新津駅下車、磐越自動車道新津ICより2分
3. 建物 鉄筋2階建、延べ1,764㎡（屋外展示場除く）
4. 展示品 約800点
5. 特色 200系新幹線・C57形蒸気機関車・DD14形ディーゼル機関車・485系特急形電車の実物車両展示、鉄道運転シミュレータ、新潟・新津の鉄道の歴史展示 など。

◆平成27年度事業

①実物車両輸送・展示（DD14形ディーゼル機関車・485系特急形電車）



485系1500番台車両



本体・台車一体で引き上げる



10月3日から一般公開開始

②向谷実の1日館長

元カシオペアのキーボーディストで鉄道愛好家の向谷実氏をお招きし、「鉄道メロディライブ」「鉄道お宝トーク」などを披露いただき、終了後は地元商店主や鉄道愛好家と懇親会を行いました。

③鉄道講演会

8月嶋津忠裕氏（えちごトキめき鉄道 代表取締役社長）、9月渡邊正幸氏（北越急行株式会社 代表取締役社長）

10月大熊孝夫氏（元国鉄本社運転局車両運用補佐）をお招きして開催しました。

④まちなか鉄道資料館

新津商店街に新津鉄道資料館収蔵大型資料を設置・展示しました。（C57動輪・踏切警報機 ほか）

上松町 赤沢森林鉄道

(経済産業省「近代化産業遺産群」一部認定)

〒399-5603

長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13

上松町役場 産業観光課 商工観光係

TEL 0264-52-4804 FAX 0264-52-1038

URL

<http://www.town.agematsu.nagano.jp/kankou/>



(赤沢森林鉄道の運行状況)

2015 年、赤沢森林鉄道は 次の日程で運行されています。

○2015 年度運行日程

今シーズンは、4 月 29 日～11 月 8 日まで軌道整備日を除いて連日運行しています。

【運行時間】

土曜・日曜・祝日・夏季及び紅葉シーズン

9:30～15:30 の 30 分毎に 1 便運行

※夏季イベント期には 9:00 の便が追加

※上記以外の平日は 10:00～15:00 の 1 時間毎に 1 便運行

【乗車料金】

通常時 大人(中学生以上) 800 円 小人(4 歳～小学生) 500 円

夏休みイベント期(7 月 25 日～8 月 16 日) 大人 1,000 円 小人 700 円 ※イベント参加料金込み

●15 名様以上は団体割引 各 100 円引

【運行区間】

森林鉄道記念館前～丸山渡停車場 往復 2.2 km を約 25 分で運行

赤沢森林鉄道は

もうすぐ 30 周年

大正 5 年に開業し、木材の運搬や地域の足として活躍し全盛期には総延長が 400 km を超えていた木曽森林鉄道。

蒸気機関車に始まり、ガソリン機関車、ディーゼル機関車と変遷しながら木曽谷で活躍していましたが、道路網、自動車運搬の発達に伴い昭和 50 年(1975 年)に惜しまれつつ全国最後の森林鉄道として残っていた木曽森林鉄道も姿を消しました。

その後、赤沢自然休養林内で保存されていた森林鉄道ですが、昭和 60 年(1985 年)赤沢で切り出した伊勢神宮の御用材運搬用に運行を行ったところ、再度運行を求める声が再燃し、昭和 62 年(1987 年)7 月 25 日、ついに赤沢森林鉄道として乗車運行が開始されました。当初は夏休み期間限定の運行。その後は開園期間中の土曜、日曜、祝日と運行期間を拡充。現在では、開園期間中は毎日(軌道整備日を除く)運行しています。

再来年、2017 年には赤沢森林鉄道が運行開始から 30 周年を迎えます。

木曽の林業の主力を担い、地域の交通としても活躍していた木曽森林鉄道。赤沢自然休養林、赤沢森林鉄道ではその歴史を肌で感じることができます。樹齢 300 年を超える木曽ひのきの森を、時速 8 km でゆっくり運行しています。森林の風、小川のせせらぎに癒されます。皆様のご乗車をお待ちしています。



(保存車両 モーターカー)

伊豆修善寺 虹の郷

〒410-2416
 静岡県伊豆市修善寺4279-3
 (一財)伊豆市振興公社
 TEL0558-72-7222
 FAX0558-72-7133
 E-mail nijinosato2@vcs.wbs.ne.jp
 URL <http://www.nijinosato.com/>

虹の郷 ロムニー鉄道

鉄道の生まれた国、イギリス。この国では我々が知っている大きさ以外に、小さな鉄道路線が何種類もあります。
 なかでも、公共の鉄道として一番小さな規格の鉄道が15インチゲージ鉄道と呼ばれるものになります。



現在イギリスで、市民足の鉄道として走っている15インチゲージ鉄道の中でもっとも有名な二つの路線。ドーバー海峡沿いの海岸線を走るロムニー・ハイス・&・ディムチャーチ鉄道と湖水地方の森林を走るレイブングラス・&・エスクデール鉄道、この2社の協力を得て、日本で唯一の15インチゲージ鉄道が虹の郷にて運行されております。

乗車料金

大人 (中学生以上) 片道400円
 小人 (4歳～小学生) 片道200円

※平常時30分間隔営業
 繁忙期は2編成にて臨時増発営業しております。

「ノーザンロックⅡ号の秘密」

絵本作家オードリーさんの作品に「Jock the new engine」という物語があります。
 なんと、きかんしゃトーマスの原作なのですが、ノーザンロック号が主人公の物語なんです。
 情報元は当時のレイブングラス鉄道総支配人ダグラス・フェレイラさん。
 この秘密、素敵な夢のあるお話だと思いませんか?!



保有車両情報

蒸気機関車

NORTHRN ROCK II 1-C-1 1989年製造
 CUMBRIA 1-C-1 1992年製造

ディーゼル機関車

JOHN SOUTHLAND II B - B 1988年製造
 CITY OF BIRMINGHAM 0-C-0 1992年製造

展示機関車

ERNEST W TWINING 2-C-1 1949年製造
 C11 (金沢工業大学より貸与) 1-C-2 1996年製造

団体名	大井川鐵道株式会社	〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2 TEL0547(45)4111・FAX0547(45)4115
-----	-----------	--

おかげさまで創立90周年



臨時SL列車が運転される日は、新金谷駅で2本のSL列車が並ぶこともあります。

◎SL「かわね路」号2015年度 運行予定

・運 転 日

平成27年11月30日まで毎日運転、12月～
平成28年3月中旬は毎週 日、月、金、土曜日に運転

・運転区間 大井川本線 新金谷～千頭駅間(37.2キロ)

・運行時刻 下り 新金谷 11:52 発 - 千 頭 13:09 着 上り 千 頭 14:53 発 - 新金谷 16:09 着

・運行車両 SL C108 C11190 C11227 C5644 PC か35系 ひ43系等 EL E10 ED50

◎トーマス号・ジェームス号の運転

昨年に引き続き今年も「きかんしゃトーマス号」が運転されました。今年はトーマス号のほかジェームス号も仲間入りし、川根路は一層賑やかなトーマスワールドとなりました。



平成27年度に入り、約7万人のお客様がトーマスやジェームスを見学するために訪れました。このほかにも静態状態で49616号改造の「ヒロ」や、C12208号改造の「パーシー」が千頭駅構内に展示されています。

◎インターネットを利用したSL列車座席予約を承っております。

(大井川鐵道公式ホームページにて承ります。)

お問合せ先 : 大井川鐵道株式会社 鉄道サービスセンター TEL 0547-45-4112

<http://www.oigawa-railway.co.jp>

大井川鐵道公式ホームページでは、SL列車座席予約だけでなく、車両の紹介をはじめ、各種割引乗車券、イベントの情報などをご案内しております。

■名古屋市 リニア・鉄道館

〒455-0848
名古屋市港区金城ふ頭 3-2-2
TEL 052(389)6100
<http://museum.jr-central.co.jp>

Information

○入館料

大人 1,000 円 (団体 800 円)
小中高生 500 円 (団体 400 円)
幼児 (3 歳以上) 200 円 (団体 100 円)
※障害者手帳をお持ちのお客様と付添の方
大人 500 円、高校生以下 200 円

○休館日

毎週火曜日 (祝日の場合は翌日)
年末年始/12 月 28 日～1 月 1 日
(※春・夏・冬休みやGWは無休)

○展示

鉄道車両 39 両+バス 1 台、鉄道のしくみコーナー、
超電導リニア展示室、歴史展示室、鉄道ジオラマ、
シミュレータ、映像シアターなど



第 4 回企画展の開催状況



新幹線運転台の特別公開 (100 系)

【2015 (平成 27) 年の記事】

○東海道新幹線 50 周年 未公開収蔵品の展示 (H26 11/12～3/9 127 日間)

○第 4 回企画展 (3/18～9/28 195 日間)

東海道新幹線の誕生 ～東海道における東西の難所を克服する～

○運転台特別公開

0 系 (5/23～7/12 の土日)

100 系 (3/18～4/6、9/5～9/27 の土休日)

300 系 (H26 12/17～1/12、4/11～5/17 の土休日 及び 4/30、5/1、7、8、10/3～11/3 の土休日)

700 系 (1/17～3/15 の土休日、7/15～8/31)

○ガイドツアー

クハ 111 と手動踏切 (3/18～4/6、4/11～5/17 の土休日 及び 4/30、5/1、7、8)

新幹線車両の進化の歴史 (5/20～7/13)

きっぷを発券してみよう! (7/15～8/31)

ドクターイエローの秘密を探ろう! (7/15～8/31、9/19～23)

100 系新幹線ガイド (9/30～11/3)

みどころガイド (1/2～5/18、9/2～11/3)

○新幹線のお仕事紹介

運転士編 (6/6、7、13、14、10/17、18、24、25) 車掌編 (9/5、6、26、27) パーサー編 (10/11、12、13)

○クイズラリー

新幹線の進化の歴史を探ろう! (H26 12/17～1/12、1/17～3/15 の土休日)

鉄道の安全を守るしくみを探ろう! (3/18～4/6、4/11～7/13 の土休日 及び 4/30、5/1、7、8)

新幹線の進化を学ぼう! (7/15～8/31、9/2～11/3 の土休日)

○各種イベント/展示の追加など

「てうどう博士」をめざせ! ～ドアラと一緒にクイズに挑戦～ (3/28、29)

来館者 300 万人達成セレモニー (5/2)

在来線シミュレータ運転教室 (H26 12/17～1/12、1/17～3/15 の土休日)

JR 東海音楽クラブコンサート (4/19)

ミニトレイン運転 (5/3～5/5、10/31、11/1)

第 1 回 新幹線を支える技術 紹介展示「日本プラッサー」(7/1～)

夏休み工作教室 (7/15～8/31 の平日)

新規シアターコンテンツ公開「夢の超特急誕生 ～新幹線モデル線を振り返る～」(7/15～)

新幹線が道路を走る! 新幹線車両の輸送に関する物流博物館共催による展示 (7/15～)

0 系×サイボーグ 009 コラボレーション展示 (7/18～9/13)

松井玲奈 (SKE48) スペシャルトークショー (8/22)

第 4 回企画展制作担当者による講演会 (9/12)

港警察署の交通安全 PR (9/13)

スギテツ&JR 東海音楽クラブコンサート (10/4)

団体名	公益財団法人 博物館 明治村	〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地 電話 0568-67-0314
-----	--------------------------	---

近況報告

<蒸気機関車>

○9号機関車 平成27年3月15日(日)より動態展示再開。

<蒸気機関車9号運行再開出発式 14:30~>

- ・開式及びSL9号の解説
- ・新村長の阿川佐和子による愛称「ジョージ9」発表
- ・関係者によるテープカット
- ・こども駅長によるテープカット
- ・こども駅長によるSL9号発車合図及び動態展示再開



ボイラーの修理現場（大阪）



SL9号運行再開出発式

○(株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を3ヶ月に1回実施。

○蒸気機関車12号と蒸気機関車9号が10日間くらいの間隔で交互に動態展示を実施。

<ハフ11・13・14>

○(株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を3ヶ月に1回実施。

<京都市電>

○(株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を3ヶ月に1回実施。

<設備工事・点検>

○(株)メイエレクトリックによる電路・電気設備点検を半年に1回実施。

○矢作建設(株)による軌道点検整備を半年に1回実施。

<動態展示物（京都市電・蒸気機関車）を利用したイベント実績>

○バイオリン演歌師と行くSL小旅行 開催日/3月21日(土・祝)、22日(日)

内 容/バイオリン演歌師がSLの客車内に登場。明治時代に流行した「書生節」を演奏。

○プッシュプル運行 SL9号・12号による夢の競演 開催日/4月11日(土)、12日(日)

内 容/SL9号とSL12号を両端に配し運行しました。

長浜鉄道スクエア

旧長浜駅舎・長浜鉄道文化館
北陸線電化記念館の総称

〒526-0057 滋賀県長浜市北船町1番 41 号

Tel.0749-63-4091

Fax.0749-63-4011

名誉館長 米山淳一

(日本鉄道保存協会 事務局長)

館長 清水義康

(公益社団法人長浜観光協会 理事)

旧長浜駅舎 明治 15 年 3 月 10 日、北陸線の始発駅として開業。現存する日本最古の駅舎です。

長浜鉄道文化館 長浜の鉄道文化を後世に伝える資料館。天井はヨーロッパのターミナル駅を模した木造アーチづくりです。H Oゲージのジオラマがあります。

北陸線電化記念館 D 5 1 形蒸気機関車と日本で唯一残る交流電気機関車のED70の1号機を展示しています。北陸線と長浜駅を望む展望デッキがあります。



鉄道記念物 旧長浜駅舎

平成 26 年度 事業実績

年間入館者数 58,564人(前年度56,974人)

照明器具のLEDへの交換

「偉大なる、しゅららぼん」写真展

1月25日 ～ 5月 6日

夏休み企画「プラレールフェスティバル」

7月19日 ～ 8月31日

ちびっこぬり絵展

9月19日 ～ 10月16日

光り輝く新幹線展

1月10日 ～ 3月15日

旧長浜駅舎ライトアップ

2月 7日 ～ 3月 8日

平成 27 年度 事業予定

清水薫写真展 春夏秋冬「鉄路の季節」

1月 9日 ～ 3月13日

なつかしの鉄道おもちゃ・絵本展 関田克孝コレクション

1月20日 ～ 3月 6日

第2回 長浜梅酒祭り

1月30日・31日、2月6・7日

公益社団法人長浜観光協会

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地

Tel. 0749-65-6521 Fax. 0749-64-0396

e-mail kankou@city.nagahama.shiga.jp <http://www.kitabiwako.jp/>

■2014年度の活動経過

2014年度は、4月の三岐鉄道貨物電化60周年に合わせて、記念列車、企画展示などの記念事業を行った。
そのほか、収蔵車ホキ5700形25767の塗装修繕を行った。



三岐鉄道貨物電化60周年記念列車
2014年3月31日

■2015年度の活動計画

2015年度は、新収蔵車両タ2000形2001の修繕を行う。



タム2000形2001 修繕作業
2014年9月7日

◆2015年度定期開館日

2015年4月5日(日)、5月3日(日)、6月7日(日)、7月5日(日)、8月2日(日)、9月6日(日)、
10月4日(日)、11月1日(日)、12月6日(日)、2016年1月10日(日)、2月7日(日)、3月6日(日)

西日本旅客鉄道株式会社 (公財) 交通文化振興財団

交通文化振興財団事務局

〒552-0001大阪市港区波除3-11-10

TEL 06-6581-5772



▲京都鉄道博物館エントランス（イメージ）

交通科学博物館は、昨年4月で閉館し、梅小路蒸気機関車館は今年8月30日をもって閉館しました。

現在は、2016年春の京都鉄道博物館開業に向けて準備を進めています。なお、旧交通科学博物館で展示していた主な実物車両は整備し京都へ移設が完了しています。



▲0系新幹線電車



▲230形蒸気機関車



▲キハ81形ディーゼルカー



50 ▲クハ86形電車

団体名



加悦SL広場

宮津海陸運輸(株)

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2

TEL 0772-42-3186 FAX 0772-42-5300

URL <http://www.kyt-net.jp/kayashiroba/>

近況

■ ハ10号 客車(大阪梅鉢鉄工所 製) 修復完了 10月5日より展示再開



加悦鉄道の創業時より稼働し当地域では
唯一のボギー客車でした。



ハ10号 客車

大正15年11月 大阪梅鉢鉄工所製

車体:木造、ダブルルーフ 定員78人

与謝野町 指定文化財:加悦鉄道車両群

車歴

大正15年12月～昭和43年8月

走行キロ 619,360km

昭和45年12月31日 休車

平成5年7月～平成6年12月に大修理

2等室、3等室を復元

■ 今後の修繕予定: 123号蒸気機関車(外装)、フハ2木造客車、DB201ディーゼル機関車

■ NHK 放送90年ドラマ 経世済民の男「小林一三」 撮影

オープニングなどに加悦SL広場の車両が登場しました。

123号機関車、ハ4995号木造客車、ハ10木造客車



撮影の準備風景

■ 加悦鉄道保存会 協力のもと、ライブスチーム運行を各月に実施

■ 平成26年11月SL広場「周年祭」 及び 平成27年5月「初夏の加悦鉄道まつり」を開催

■ 加悦SL広場 夜間撮影会 平成27年10月25日(日) 開催予定(保存会主催)

■ 平成27年度 SL広場「周年祭」 平成27年11月1日(日) 開催予定

※再現列車乗車会ほか、与謝野町近隣団体等との連携イベント「滝・金屋地区 秋の大感謝祭」共催
今後も車両等の修復を通し、地元と力を合わせて加悦鉄道の歴史・鉄道文化遺産の保存維持に取り組んで参ります。

■2014年10月～2015年9月までの主な活動



「周年祭」、「初夏の加悦 SL まつり」で『加悦鉄道再現列車』を運転



ちりめん街道まるごとミュージアム
協賛出展



関西学院大学鉄道研究会
夏季合宿受入

○ 2015年10月現在、会員数は47名、年齢は7歳から75歳と幅が広いですが、自分ができる範囲内で楽しみながら活動しています。

○ ホームページのご案内
より詳しい作業状況やイベント情報、オリジナル商品の情報が満載です。

<http://kayatetsu.web.fc2.com/>



加悦鉄道廃線跡サイクリングロード
京都府の整備事業に参加・協力



ハ10客車
車体及び内装の修復に協力

団体名 ふるさと鉄道保存協会

事務局 〒674-0051

兵庫県明石市大久保町大窪 818-3 中井方

TEL 090-3896-1046

E-mail furutetu1999@yahoo.co.jp

URL <http://furutetu.web.fc2.com/>

貴重な車両など鉄道遺産の保存、活用のための各種活動を行うボランティア団体です。

【最近の活動】

★本部

- 気動車キハ 605、軌道自転車をジェイアール貨物北陸ロジスティクス様に譲渡



- 旧国鉄コンテナ C10 を加悦鐵道保存会様に譲渡



★チャリトロワーキンググループ

- 軌道用モーターカーの活用(栃木県日光市)



★鉄道郵便ワーキンググループ

- 鉄道郵便車オユ 10 2565 保存公開(石川県七尾市)

一般公開「鉄道郵便車フェスティバル 2015 サマー、2015 オータム」
能登中島駅保存場所移転と観光列車「のと里山里海号」見学コース新設
車内ポスト活用の記念消印サービス「思い出ゆうびん」事業への協力



★ヨ 9001 ワーキンググループ

- 高速設計車掌車ヨ 9001 の保存公開、補修作業(福岡県赤村)





賑わう吉ヶ原駅 28列車 しらさぎ号

平成 26 年度は、代表幹事の交代に伴い、会の所在地が大阪府に移転いたしました。

来園者は以前に増して多く、気動車 3 両編成で立ち席となる月もありました。新駅黄福柵原駅が暫定開業しており完成に向けての作業を実施しています。新線の路盤が安定してきたため、黄福柵原行の臨時増発を多数実施しており、近日ダイヤ改正を計画しています。これに伴い、1 往復残る現行「わかあゆ」号を「ふるさと」号に編入する見込みです。



4 両対応化に向けて着発線延伸工事

◆片鉄保存会の主な作業内容

・黄福柵原駅暫定開業(11 月)

- ・黄福柵原 8 番右分岐器新設(黄福柵原51号: 非連動)
- ・黄福柵原作業線延伸(50m)
- ・黄福柵原駅20m車入線試験(ホハフ3002号)
- ・キハ 303 塗装
- ・吉ヶ原旧第 7 踏切ハエタキ復旧と一部道路舗装
- ・駅間踏切有人半自動化
- ・旧柵原駅より21mレール 1 本楊収
- ・玉砂利36t篩分け再生

- ・現役時の柵原駅を模して
新駅黄福柵原駅に景観復元作業を継続して実施しています。
- ・照明柱設置
- ・駅名票にコスモスを植栽
- ・軌道表層を玉砂利化(着発線)
- ・出発反応灯設置と運用



現役時の柵原駅



現在の黄福柵原駅

江若鉄道OB来園に伴い、
702号江若鉄道再現運転(12 月)
お座敷展示運転便「桜臨」設定(4 月)
吉ヶ原第 5 踏切無人化回避のための
ストライキ実施。(5 月)
「やってあげばよかった」と後に思うことを
中心に、今のうちに実施しています。



4 年に 1 度の「桜臨」



5 月ストライキ

若桜駅を元気にする会

〒680-0701

鳥取県八頭郡若桜町若桜801-5

若桜町役場ふるさと創生課内

TEL0858-82-2231FAX0858-82-0134

e-mail:furusato@town.wakasa.tottori.jp

2015年度の取り組み

蒸気機関車(C12-167)やディーゼル機関車(DD16-7)の運転体験、トロッキ列車(元長野電鉄無蓋車ト6)の乗車体験、旧国鉄12系客車(和12-9、スロ12-3、スロ12-6)を団体客の食事処、休憩場所として提供するなど、若桜駅周辺は多くの観光客で賑わっています。

若桜駅を元気にする会では、若桜駅構内の美化清掃活動、駅周辺で開催されるイベントへの協力などにより、若桜駅と沿線地域の振興に取り組んでいます。

【SL・DL運転体験】

場 所:若桜駅構内 SL走行線

内 容:実務講習(運転取扱及び車両の構造を図面、写真で講習)

指導講習(主任運転士による見本運転 1往復)

体験運転(教官がついての実車運転 2往復)

料 金:10,000円～

開催日:SL 4・6・8・10月の第3土曜日

DL 5・7・9・11月の第3土曜日

その他:事前のお申し込みが必要です。詳しくは若桜鉄道(株)にお問い合わせください。

【SL走行日】

場 所:若桜駅構内

料 金:入構料300円、トロッキ乗車体験200円

開催日:4月～11月の第2・4日曜日、5月のゴールデンウィーク、お盆



SL (C12-167) 運転体験



トロッキ列車乗車体験
(元長野電鉄 無蓋車ト6)

今後の取り組み

若桜駅構内の美化清掃活動、駅周辺で開催されるイベントへの協力など沿線地域の活性化に積極的に取り組みます。

また、本来の目的である観光列車の運行実現に向け、関係機関との連携を強化し、調査・研究・要望活動を継続して行います。

団体名 NPO 市民文化財ネットワーク鳥取

〒680-0022

鳥取県鳥取市西町1-106

TEL : 0857-26-1151

FAX : 0857-22-4103

E-mail: wako106@theia.ocn.ne.jp

組織の目的

歴史遺産は、心の支えです。生活を豊かに楽しくします。

市民文化財ネットワーク鳥取は、鳥取の歴史遺産を見直し、調査し、修復・保全・技術伝承を目指し、かつ観光資源を活用しながら鳥取らしさを創造する団体です。

2004年4月にNPO法人となりました。会員数118名

今年度の主な活動

- ・若桜町つくよねに整備した燻蒸茅の生産システムがほぼ軌道にのり、県内の文化財修理に使っていただく体制が整ったので、若桜鉄道沿線の茅葺屋根の復活を目指しています。
- ・景観まちづくりセミナーにおいて若桜鉄道の終着駅「若桜」の若桜宿の伝統的な建造物を中心とした整備計画を提案した。
- ・江戸初期の中心の仮屋と水路の商家通りを挟んで蔵通りで護られた寺通りと旧武家町という明確なゾーン分離が明治期の火災によって宿議会で決められた都市計画によって再整備され、昭和5年に整備された鉄道と各時代の歴史を感じさせる町並みの整備。



仮屋（雁木）のある町並み

団体名	山口線 S L 運行対策協議会	〒753-8501 山口県山口市滝町 1 - 1 山口県観光振興課内 T E L : 083-933-3160 F A X : 083-933-3179 E-mail : c571@c571.jp H P : http://www.c571.jp/
-----	-----------------	--



◆ S L 「やまぐち」号の概要

〔平成27年運転期間〕

平成27年3月21日～11月1日の土日祝日を中心に運行（80日間）

〔運転区間〕

新山口駅（山口県山口市）⇄津和野駅（島根県津和野町）※1日1往復

〔運転時間〕

新山口駅：10時48分発～津和野駅：12時58分着

津和野駅：15時45分発～新山口駅：17時30分着

豪雨災害からの復興。そして、未来への出発

平成25年7月の豪雨災害により、J R 山口線が被災し、S L 「やまぐち」号は運転休止を余儀なくされましたが、昨年に運転再開を果たしました。

今後、J R グループ6社が山口県へ重点的な送客を図る、平成29年度やまぐちデスティネーションキャンペーンに向けて、平成29年に投入が予定されている「D51（デゴイチ）」や新型客車等を活用し、より多くのお客様にS L 「やまぐち」号をご利用いただけるよう取り組んでいきます。



▲D51（デゴイチ）：本線運転復活に向け、大規模改修・修繕を実施中

【近況報告】

◆ S L 「やまぐち」号復活運転36周年記念イベントの開催

イベントでは、新山口駅での記念式典や、一日こども車掌による車掌業務の体験、J R 山口線全線運転再開1周年記念ヘッドマークのお披露目等を行いました。



▲会場の賑わい



▲車掌業務の体験

◆ S L ギャラリーの開催

S L ギャラリーでは、豪雨災害から全線運転再開までの歩みを振り返るとともに、「D51（デゴイチ）」の修繕・改造の舞台裏の紹介や、S L に関わる貴重なコレクションを多数展示しました。



▲貴重なコレクション

◆ S L アテンダントサービスの実施

S L イベント開催時、山口県立大学の学生がレトロな衣装を身に着け、S L アテンダントとして、記念乗車証の配布や写真撮影の補助等、ご乗車のお客様に心のこもったおもてなしを実施します（次回11月1日実施予定）。



▲S L アテンダントサービス

愛媛県西条市

鉄道歴史パーク in SAIJO

〒793-0030 愛媛県西条市大町 798-1

TEL0897-47-3575 FAX0897-53-6200

鉄道歴史パーク in SAIJO 検索



夢の競演！「鉄道ホビートレイン特別展示」(2014 年 12 月 6 日～9 日)



0 系新幹線と並ぶ鉄道ホビートレイン



期間中 DF50 1 は屋外展示。ファンが詰めかけた

愛媛県西条市の JR 伊予西条駅隣にある四国鉄道文化館は、予讃線から建物内に引込線を有する利点を生かして、車両の入替え展示を実施しました。期間中は大勢の鉄道ファンで賑わいました。



十河信二氏胸像 (十河信二記念館展示)

第 4 代国鉄総裁・十河信二氏ゆかりのまち「西条市」

「新幹線生みの親」とも言われる十河信二氏は、西条市長も務めた「名誉市民」でもあります。市ではパーク内に「十河信二記念館」を整備し、「夢の超特急」東海道新幹線の開通に尽力した氏の功績と人間的な魅力を紹介しています。

南館のオープンで展示内容が充実

2014 年 7 月 20 日、四国鉄道文化館南館が新しくオープン。南館には、C57 形蒸気機関車、キハ 65 形急行用気動車、DE10 型ディーゼル機関車、フリーゲージトレインの 4 車両を展示。また四国の沿線風景の 1 日を再現した演出走行が人気の鉄道模型レイアウトは見応えじゅうぶんです。

北館には 0 系新幹線と DF50 1 号機の 2 両を展示しておりいずれも運転室を常時開放。運転士気分が味わえます。



南館外観と屋外展示のフリーゲージトレイン



南館展示車両 (左から C57 44、キハ 65 34、DE10 1)

多彩なイベントを開催中！

四国鉄道文化館では、総延長 235m のミニ SL 用軌道を常設しており、年数回開催の乗車会はたくさんのちびっこで大賑わいです。このほか、駅長の仕事を学んだり、普段は立入りできない駅構内を見学できる夏休みの人気企画「西条駅たんけん」では、大正 10 年開業当時から駅構内に残るレンガ造りの「給水塔」や「カーバイト庫」を間近に見ることができます。今後も楽しいイベントを計画しています。



大人気のミニ SL 乗車会



貴重な給水塔を見学

四国鉄道文化館“てつぶん”へお越しください！！

てつぶん 6 姉弟 (きょうだい)



【鉄道歴史パーク in SAIJO】

JR 伊予西条駅隣の「鉄道歴史パーク in SAIJO」。パーク内には「四国鉄道文化館 北館」「四国鉄道文化館 南館」「十河信二記念館」「観光交流センター」の 4 つの施設があります。

○開館時間：9 時～18 時（最終入館 17：30） ○休日：水曜日（観光交流センターは無休）

○入館料：（四国鉄道文化館 両館共通）大人 300 円、小中学生 100 円、就学前児童 無料

馬路村 ^{や な せ} 魚 梁瀬 森林鉄道

〒781-6202

高知県安芸郡馬路村大字魚梁瀬 10-11

馬路村役場魚梁瀬支所

TEL : 0887-43-2211 FAX : 0887-43-2208

E-mail : yanase@mb.inforyoma.or.jp

URL : <http://www.umajimura.jp/>

～林鉄の遺構でライブを開催!!～

古くから高知の林業は栄えてきました。県内の多くの木材が朝廷奉納や幕府献上として活用されていた記録が古い文書に残されています。

特に銘木、魚梁瀬杉で知られるように森林資源に恵まれた馬路村では、木材搬出のため、明治44年に、国内3番目の森林鉄道として、馬路から田野間を結ぶ森林鉄道が開通しました。その後、馬路から魚梁瀬まで延長され、大正6年には本線終点の石仙まで軌道が延びました。やがて奈半利川沿いにも軌道が敷かれるようになり、総延長250kmといわれる県内最大級の森林鉄道となりました。

しかし、昭和32年、魚梁瀬ダム建設に伴い森林鉄道の廃止が決定しました。33年から軌道の撤去がはじまり、38年に安田川線の撤去が完了し、惜しまれながら廃線されましたが、現在でも、当時の面影を残す隧道や橋梁跡などが点在し、人々の生活の中に残っています。

その繁栄を遂げた魚梁瀬森林鉄道の遺産として、平成21年に橋梁や隧道など18箇所（馬路村内では4箇所）が国の重要文化財の指定を受けました。同年には経済産業省の近代化産業遺産群にも9基（馬路村内では2基）が認定されました。広域（馬路村を含めた5ヵ町村）で国の重要文化財の指定を受けるのは、我が国初のことです。

現在、貴重な観光資源としても活用され、林鉄は馬路村に多くの観光客を集めています。また、今年5月から高知県では『高知家まるごと東部博』と題して県東部を強く売り出しており、その中で、林鉄の遺構の橋梁や隧道を音楽のライブステージとして使うなどの取り組みを行っています。歴史を刻んできた林鉄の遺構に響く音色は情感豊かで定評もあり多くの聴衆を楽しませています。静かにたたずむ遺構は今もなお観る人を引きつけてやみません。

●馬路森林鉄道

実物の3分の2の大きさに復元された森林鉄道。安田川支流の西谷川沿いに線路が敷かれ、約300mの周回コースを走ります。

◎場所／馬路村馬路 馬路温泉前

◎運行日／日、祝日 8時30分～16時

[8月は毎日運行]

◎料金／乗車大人400円など

◎お問い合わせ／馬路温泉

TEL:0887-44-2026

●魚梁瀬森林鉄道

魚梁瀬ダム湖が見下ろせる丸山公園に、復元された森林鉄道があります。指導を受けながら運転することができる「運転手体験」メニューもあります。

◎場所／馬路村魚梁瀬 丸山公園内

◎運行日／日、祝日 10時00分～12時、13時～15時30分

[8月は土曜も運行]

◎料金／乗車大人400円、運転体験1,000円など

◎お問い合わせ／馬路村役場魚梁瀬支所

TEL:0887-43-2211



団体名	九州旅客鉄道株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21 Tel 092-474-2541 Fax 092-474-3898
-----	------------	--

SL人吉、今年も快走！

100年レイルの肥薩線を走る8620形蒸気機関車「SL人吉」は、今年も多くのお客さまにご利用いただいております。今年は、3月14日に熊本駅の一部のホームが高架化され、SL人吉も高架ホームから発着するようになりました。



歴代駅長17名が勢ぞろいしたSL人吉の出発式

2015年8月8日デビュー JRKYUSHU SWEET TRAIN『或る列車』

2015年8月8日、JRKYUSHU SWEET TRAIN『或る列車』がデビューしました。鉄道模型の大家、故原信太郎氏の愛した幻の客車「或る列車」の模型をモチーフに、1分の1サイズの「或る列車」を製作しました。車内では、九州各地で生産された食材を用いて、世界的に有名なシェフ成澤由浩氏が手掛けたスイーツが提供されます。

【或る列車とは・・・？】

1906年（明治39年）に、九州鉄道がアメリカのブリル社に発注した豪華な客車。窓の上部にはステンドグラス、内装にはマホガニーが使用されるといった豪華列車だが、1907年に納車された際には九州鉄道は国有化されており、使われることはなかった。



北九州線車両保存会

KITAKYUSHU LINE TRAM SOCIETY

お問い合わせ
 福岡県福岡市東区香椎ヶ丘7-2-1
 香椎花園内レトロ電車パーク
 080-6412-1666 代表 手嶋 康人
 E-mail teshi729@yahoo.co.jp
 FacebookID 350000081873979

NEWS 2015

須恵町より福岡市内線507号取得

福岡県須恵町で保存されていた、元福岡市内線507号が荒廃の為、撤去となり、保存会で取得いたしました。
 筑前山家駅構内で修繕中です。



西日本鉄道北九州線621号（所有）香椎花園内レトロ電車パーク



西日本鉄道北九州線324号（所有）香椎花園内レトロ電車パーク



西日本鉄道北九州線148号（管理）門司港レトロ駐車場



西日本鉄道福岡市内線507号（所有）筑前山家駅構内（JRより借地）

日 本 鉄 道 保 存 協 会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903 号
公益財団法人交通協力会気付

電話: 03-6269-9808 FAX: 03-6269-9809

URL: <http://www.rpsj.jp>

Email: rpsj.tetsudo.hozon@gmail.com